

平成26年度 札幌市学習実現状況調査

# 実施報告書

平成27年12月

札幌市教育委員会

## はじめに

札幌市では、札幌市教育振興基本計画において「学ぶ力」の育成を重要項目の一つとして位置付け、「分かる・できる・楽しい授業」づくりに向けた取組の充実に努めてきております。

その取組の一環として、学習の実現状況を把握した上で、課題や改善の方向を明らかにするとともに、教育施策等の改善に活用することを目的に、本年2月、小学校第5学年及び中学校第2学年の児童生徒を対象に「札幌市学習実現状況調査」を実施しました。このたび、実施教科等（小学校社会、中学校社会及び英語、学習意識）に係る結果の分析を行うとともに、平成23年度等における調査結果との経年比較を行うなどし、それらによって明らかとなった課題や改善の方向を実施報告書としてとりまとめました。

今回の調査においては、「積極的に話そうとする意欲」や「複数の資料から必要な情報を読み取ること」「意味理解を伴った知識・技能の習得」「家庭での学習習慣の定着」などの課題が明らかとなっております。

各学校においては、「学ぶ意欲」や、「基礎的・基本的な知識及び技能」、それらを活用した「思考力・判断力・表現力」等をバランスよく育むため、本実施報告書と併せて、昨年度各学校に配付した「小学校教育課程編成の手引」、今後、配布する「中学校教育課程編成の手引」を積極的に活用しながら、自校の「学ぶ力」育成プログラムに基づく指導方法等の工夫・改善の取組を、より一層充実するようお願いいたします。

札幌市教育委員会

教育長 長 岡 豊 彦

# I 調査の概要

## 1 目的

札幌市の教育課程の実施状況について、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習状況を把握し、指導上の課題等を明らかにした上で、今後の教育課程の編成や指導の改善に資する。

## 2 対象及び教科

- ・小学校第5学年 社会・調査対象教科に関する学習意識調査・学習についてのアンケート
- ・中学校第2学年 英語・社会・調査対象教科に関する学習意識調査・学習についてのアンケート

## 3 実施日程

平成27年2月24日

## 4 受検人数等

	社会	英語	学習についてのアンケート
小学校第5学年	1074人	—	1075人
中学校第2学年	1065人	1065人	1064人

※調査対象は、各学年在籍児童生徒数の約7%  
対象学校及び学級については無作為抽出

## 5 用語の説明

用語	説明
設定通過率	設定通過率は、各設問においてあらかじめ設定された、学年として期待される通過率（正答率）を領域や観点などの項目ごとに括って平均したものである。
札幌市の通過率	札幌市の通過率は、各設問における本市児童生徒の通過率（正答率）を領域や観定の項目ごとに括って平均したものである。

## Ⅱ 結果の全体概要

### 1 教科に関する調査結果の全体概要

#### 【小学校】

社会における教科全体の通過率は設定通過率を下回っている。(−6.9ポイント)

#### 【中学校】

社会における教科全体の通過率は設定通過率とほぼ同程度である。(＋0.2ポイント)

英語における教科全体の通過率は設定通過率とほぼ同程度である。(＋2.1ポイント)

■ 小学校社会においては、「観察・資料活用の技能」の観点で設定通過率とほぼ同程度である(−1.8ポイント)が、「社会的な思考・判断・表現」「社会的事象についての知識・理解」の観点で、設定通過率を下回っている。(順に、−4.9ポイント、−10.6ポイント)

■ 中学校社会においては、「社会的な思考・判断・表現」「観察・資料活用の技能」「社会的事象についての知識・理解」の全ての観点で設定通過率とほぼ同程度である。(順に、−0.5ポイント、−0.3ポイント、＋0.9ポイント)

■ 中学校英語においては、「理解する力」「言語や文化の知識・理解」の観点で設定通過率とほぼ同程度である(順に、＋2.0ポイント、＋1.4ポイント)が、「表現する力」の観点で、設定通過率を上回っている。(＋3.8ポイント)

### 2 学習意識調査及び学習についてのアンケートの結果の全体概要

#### ◎ 「学ぶ方法」の中でも、教科学力との関係が大きい項目

##### 小中学校共通

「調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる」

「授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている」

「意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている」

##### 小学校

「調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる」

「授業中、自分の意見を進んで発言している」

##### 中学校

「わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している」

### Ⅲ 課題と改善の方向

#### 1 今回の調査における課題及び改善の方向

小  
学  
校

社  
会

#### 今回の調査における課題

- 基本的な知識・理解を子ども一人一人に、確実に定着させること
- 社会的事象について、知識を用語として覚えるだけでなく、関連する理由や背景と結び付けて理解すること
- 複数の資料やグラフを結び付けて、必要な情報を読み取る力を付けること
- 社会的事象について、調べたことや考えたことをまとめ、的確に表現する力を付けること

#### 改善の方向

- 用語・語句の意味に留意して、長期的に繰り返し指導し、子ども一人一人に基本的な知識・理解を確実に定着させる指導の充実
- 地図や写真を活用し、知識を用語としてだけでなく、関連する事柄と結び付けてとらえ、意味を理解させる指導の充実
- 複数の資料から読み取った情報を結び付けながら、話し合いを通じて問題解決を図る活動の充実
- 資料を読み取って、自分の考えをまとめたり、調べたことを分かりやすくまとめたりするなど、表現を工夫する活動の充実

中  
学  
校

社  
会

- 複数の資料から必要な情報を読み取る力
- 日本の諸地域について、それぞれの地域的特色を理解すること
- 日本の諸地域について、それぞれの地域的特色を動的に考察する力を付けること
- 各時代の特色について、文化の面から理解すること
- 歴史的事象の背景や理由について理解すること

- 複数の資料から必要な情報を見付け出し、そこから分かることを読み取る活動の充実
- 各地域の特色について、事象間の関連を説明するために必要な知識を、振り返りの活動を通して確実に定着させる指導の充実
- 各地域の特色について、事象間の関連を追究したり、説明したりするなどの学習を通して、地理的な見方や考え方を養う指導の充実
- 各時代の文化の特色について、政治の特色や外国とのかかわりなどと関連付けて考えさせる指導の充実
- 歴史的事象について、既習事項の理解を基にして思考を深めたり、複数の資料やグラフから読み取れることを関連付けて考察し、与えられた条件の中で表現したりする活動の充実

英  
語

- まとまりのある英文を読んで、内容を正確に理解すること
- 文のつながりを意識し、場面にふさわしい英語表現を考えること

- 説明文や物語など、まとまりのある英文を読んで、キーワードを意識するなどして、情報を整理しながら、文章のあらすじや内容を正確に読み取ることを促す指導の充実
- 聞いたり、読んだりしたことを基に、場面の状況をとらえ、既習事項から場面に合った英語表現を考え、それらを活用して英語で表現する活動の充実

## 2 学習指導等の改善について

子どもたちに、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等の「学ぶ力」を育むとともに、好ましい学習習慣を身に付けるために、各学校においては次のような観点から指導方法等についての工夫改善を行うことが考えられる。

### (1) 「学ぶ力」育成プログラムの改善

札幌市では、平成26年度から、各学校において「学ぶ力」育成プログラム（以下、「プログラム」）を作成・実行している。

このプログラムは、各学校が各種調査等も活用しながら、自校の「学ぶ力」に関する課題や改善の重点、改善策を具体的に示しているものであるが、今後、今回調査で明らかとなった課題等を踏まえ、改めて、学習習慣の確立も含めて「学ぶ意欲」の向上を図る観点、意味理解を伴った習得を重視した「基礎的・基本的な知識及び技能」の定着、身に付けたことを自ら活用して課題探究することができるような「思考力・判断力・表現力等」の学力の3要素を、これまで以上にバランスよく育むために、プログラムの見直し、改善を図ることが重要である。

- 「学ぶ意欲」、「基礎的・基本的な知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」を、これまで以上にバランスよく育むことが必要
- 各学校において、この3要素から児童生徒の学習状況等を丁寧に把握し、「学ぶ力」育成プログラムの見直し、改善を図ることが重要

### (2) 「学ぶ力」育成プログラムの効果的な活用に向けて

「学ぶ力」育成プログラムを一層効果的に活用して、指導方法等の工夫改善を図っていくためには、以下のような観点から校内での取組を活性化していくことが考えられる。

【「学ぶ力」育成に向けた実践のポイント】（平成26年度の「学ぶ力」の育成に係る札幌市研究開発事業の実践研究から）

<b>目標の共有</b>	・どのような力を重点的に伸ばしたいのかを、学校全体が共有することで、学年間や教科間で一貫した指導を進める。 ・重点を決めることで、取組も焦点化することができる。
<b>取組の共有</b>	・学年、教科の特性を踏まえつつ、学校全体で共通して取り組むことを決め、共有する。 ・学年間、教科間で、また、学校と保護者が、取り組み方を共有することで、円滑な取組につながる。
<b>情報の共有</b>	・よい取組について積極的に情報共有しながら、取組の質を向上させていく。 ・子どもの「伸び」について、具体的な情報を関係者が共有することで、教員も、保護者も、子ども自身も自己肯定感が高まり、新たな意欲につながる。

### (3) 取組に当たって

ア 「課題探究的な学習」の充実を図ること

- ・「思考力・判断力・表現力等」や「主体的に学習に取り組む態度」の育成に向けては、子どもが疑問をもち、課題を見付けて、主体的に解決するような「課題探究的な学習」を単元や題材の中に適宜取り入れるなどの工夫が求められる。

イ 「基礎的・基本的な知識及び技能」の確実な習得に向けた指導方法等の工夫改善を図ること

- ・学校や児童生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返しの指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習や補充的・発展的な学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、指導方法や指導体制の工夫改善を図る。

【参考】小学校－「札幌市小学校 教育課程編成の手引」（平成27年2月発行）

中学校－「札幌市中学校 教育課程編成の手引」（平成28年2月発行予定）

ウ P D C Aサイクルによるカリキュラム・マネジメントを充実すること

教育課程の充実・改善を図る上で、以下のような具体的な方策を活用する。

- ・「札幌市全体の共通指標」（20項目の学習などについてのアンケート）の結果について経年分析する。
- ・全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、改善策をプログラムに位置付ける。
- ・問題データベース等のデジタル教材を授業や家庭学習で積極的に活用し、個に応じた指導を充実する。  
\*特に、授業に関する宿題を出すことだけでなく、学校として、子どもや保護者に対し、家庭学習の意義を説明するとともに、家庭学習の方法や、それに関わる情報等を積極的に提供するなど、家庭での学習習慣づくりを促していくことも大切である。家庭学習の実績を記録化する「学習記録」や教師によるノートへのコメントを積極的に書き込むなど、様々な取組が考えられる。
- ・コンピュータや実物投影機などのI C T機器を活用し、必要とする情報を児童生徒自らが取捨選択したり、様々な観点から比較・分析したりして、資料から分かることを読み取って話し合い、まとめさせるなどの学習活動を取り入れた指導の充実を図る。

【参考】「札幌市立学校ネットワーク」上の教育コンテンツ (<http://www2.sapporo-c.ed.jp/>)

- ・朝の時間や放課後の時間などを、習熟の時間や、読書活動等に有効に活用し、子どもたちに学習習慣を身に付けさせていくことが考えられる。

〈例〉

- ・日課表（生活表）づくり                      ・漢字、計算ドリル                      ・調査、観察                      ・読書
- ・日記（中学校においては、英語を活用することも考えられる）                      など

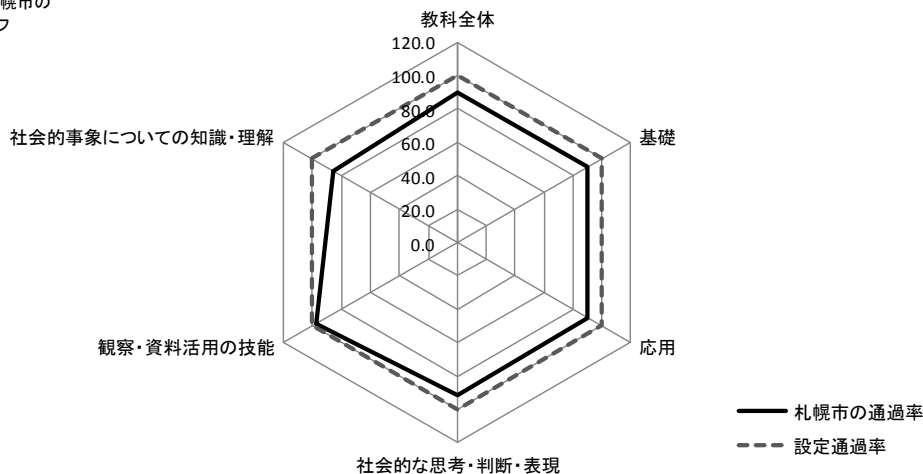
## IV 教科別の課題と分析概要

### 1 小学校第5学年（社会）

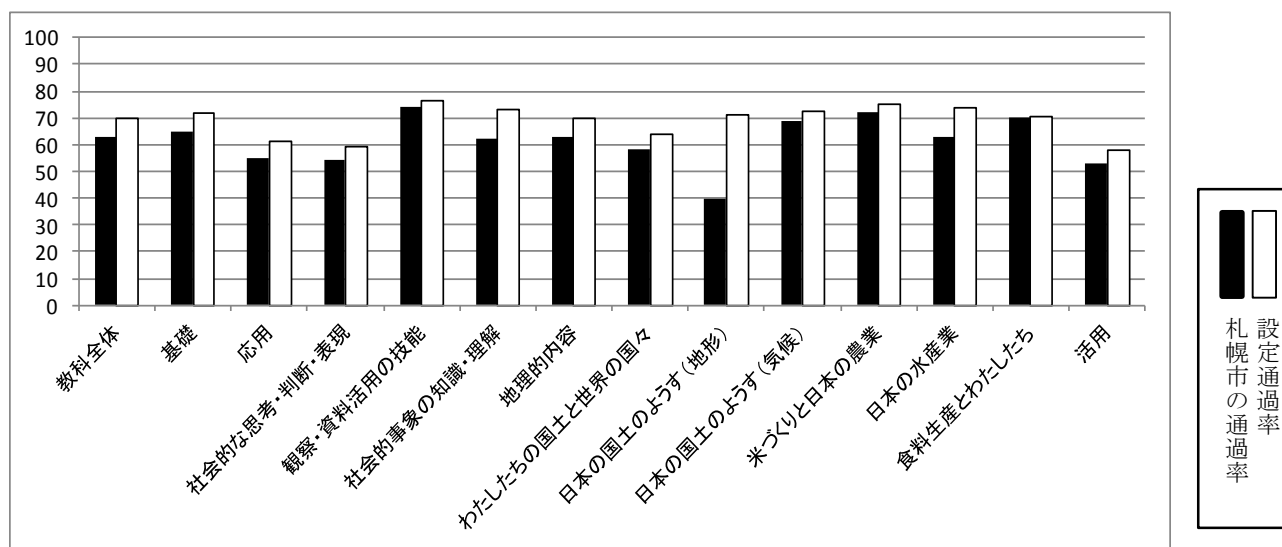
#### （1）全体概要

#### ■通過率と設定通過率との比較（社会）

■通過率と設定通過率との比較（設定通過率を100とした場合）  
 ※設定通過率を100とし、札幌市の通過率の割合を示したグラフ



#### ■全体概要（社会）



#### 【通過率】

- ・教科全体で見ると、設定通過率が69.9%であるのに対して、札幌市の通過率は63.0%であり、設定通過率に比べ、下回っている。（-6.9ポイント）
- ・基礎と応用で見ると、「基礎」「応用」ともに設定通過率を下回っている。
- ・観点別に見ると、すべての観点において設定通過率を下回っているが、特に「社会的な事象の知識・理解」において設定通過率との差が大きい状況となっている。
- ・単元別に見ると、すべての領域において設定通過率を下回っているが、特に、「日本の国土のようす（地形）」、「日本の水産業」において設定通過率との差が大きい状況となっている。



(2) 社会

■ 通過率と設定通過率との比較

項目	平成17年度			平成20年度			平成23年度			平成26年度			
	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	
教科合計	74.1	75.3	-1.2	76.0	75.3	0.7	66.0	66.2	-0.2	63.0	69.9	-6.9	
基礎	76.3	77.4	-1.1	78.1	77.4	0.7	67.8	69.0	-1.2	64.8	72.0	-7.2	
応用	68.9	70.4	-1.5	71.0	70.4	0.6	62.5	60.6	1.9	55.1	60.9	-5.8	
観点	社会的な思考・判断・表現	72.7	73.8	-1.1	74.5	73.8	0.7	66.1	64.6	1.5	54.5	59.4	-4.9
	観察・資料活用技能	73.7	73.9	-0.2	74.5	73.9	0.5	66.7	65.6	1.1	74.4	76.2	-1.8
	社会的事象についての知識・理解	74.4	75.8	-1.4	76.5	75.8	0.7	65.5	65.7	-0.2	62.2	72.8	-10.6

【経年比較】

■ 札幌市の通過率と設定通過率との差異

- ・教科全体における設定通過率との差は、平成 23 年度と比べ、下回っている。(−6.7 ポイント)
- ・観点別に見ると、いずれの観点も、平成 23 年度と比べ、設定通過率を下回る割合が大きくなっているが、特に、「社会的事象についての知識・理解」においては、設定通過率との差が 10.4 ポイントと大きい状況である。

■ 設問別通過率

大問	小問	設問内容	基礎 応用	出題 形式	札幌 市の 通過 率 (平均)	設定 通過 率	観 点			領 域	単 元						
							社会的な 思考・ 表現	観 察・ 資料 活用 技能	社会的 事象の 知 識・ 理 解	地 理	土 と 世 界 の 国 々 と わ た し た ち の 国	わ た し た ち の 国 土 ( 地 形 )	日 本 の 国 土 の よ う す ( 気 候 )	日 本 の 国 土 の よ う す ( 気 候 )	米 つ く り と 日 本 の 農 業	日 本 の 水 産 業	食 料 生 産 と わ た し た ち
1	1	緯度0度の緯線の名称を問う問題	基礎	短答式	51.9	68.7			●	■	◆						
1	2	夏から秋にかけて被害をもたらす自然災害を問う問題	基礎	選択式	91.1	95.3			●	■		◆					
1	3	日本の川の特徴を問う問題	基礎	選択式	30.4	72.6			●	■		◆					
1	4	日本の南のはしの島を問う問題	基礎	選択式	49.0	69.5			●	■		◆					
2	1	大陸の名称を問う問題	基礎	選択式	75.0	86.6			●	■	◆						
2	2	国旗の示す国を問う問題	基礎	選択式	64.8	76.2			●	■	◆						
2	3	東シナ海の位置を問う問題	基礎	選択式	33.7	40.3			●	■	◆						
2	4	日本の領土問題を問う問題	基礎	短答式	64.5	42.9			●	■	◆						
2	5	冬の季節風の風向きと選んだ理由を問う問題	応用	選択式	46.7	49.6	●			■		◆					
3	1	ア 田おこしに使われる農業機械を問う問題	基礎	選択式	86.6	90.7			●	■		◆					
3	1	イ 米づくりカレンダーの工程として正しいものを問う問題	基礎	選択式	55.7	64.0	●			■		◆					
3	2	米の品種改良の目的について問う問題	基礎	選択式	76.8	77.8			●	■		◆					
3	3	米の生産量と作付面積の地図を読み取る問題	基礎	選択式	86.7	87.5		●		■		◆					
3	4	グラフから米の政策を考える問題	基礎	選択式	54.2	55.5	●			■		◆					
4	1	ア 漁業の種類を問う問題	基礎	短答式	27.7	45.7			●	■					◆		
4	1	イ 制限された水域の範囲を問う問題	基礎	選択式	68.2	86.7			●	■					◆		
4	2	魚介類の漁獲量・消費量・輸入量を読み取る問題	基礎	選択式	65.2	69.7		●		■					◆		
4	3	栽培漁業の内容を問う問題	応用	記述式	64.3	78.2	●			■					◆		
4	4	漁業がかかえる課題を問う問題	基礎	選択式	88.8	87.9		●		■					◆		
5	1	日本の食料自給率のグラフを読み取る問題	基礎	選択式	75.4	73.2		●		■						◆	
5	2	おもな国の食料自給率のグラフを読み取る問題	基礎	選択式	71.8	76.1		●		■						◆	
5	3	地産地消の利点を問う問題	基礎	選択式	54.9	53.5	●			■						◆	
5	4	安全な食料を確保するための方法について考える問題	基礎	選択式	89.1	87.4			●	■						◆	
5	5	かぼちゃの国内生産量と輸入量の関係を読み取る問題	応用	選択式	58.7	62.2		●		■						◆	
5	6	ア なすの入荷量と平均価格の関係を問う問題	応用	選択式	54.4	64.2	●			■							◆
5	6	イ 食料生産と交通網の発達の関係について問う問題	応用	記述式	51.5	51.4	●			■							◆

- わたしたちの国土と世界の国々に関する設問
- 日本の国土のようす（地形・気候）に関する設問

【大問1】 大問1は、上記の単元の内容について、小問集合の形式で問う設問となっており、4つの小問により構成されている。

- (1) 「緯度0度の緯線の名称」の通過率は51.9%で、設定通過率を16.8ポイント下回っている。
- (2) 「夏から秋にかけて被害をもたらす自然災害」の通過率は91.1%で、設定通過率を4.2ポイント下回っている。

(3) 「日本の川の特徴」の通過率は30.4%で、設定通過率を42.2ポイント下回っている。

(4) 「日本の南のはしの島」の通過率は49.0%で、設定通過率を20.5ポイント下回っている。

**【大問2】** 大問2は、わたしたちの国土と世界の国々について、地図や国旗を読み取りながら解く、「社会的事象の知識・理解」の観点を中心とした設問となっており、5つの小問により構成されている。

(1) 「大陸の名称」の通過率は75.0%で、設定通過率を11.6ポイント下回っている。

(2) 「国旗の示す国」の通過率は64.8%で、設定通過率を11.4ポイント下回っている。

(3) 「東シナ海の位置」の通過率は33.7%で、設定通過率を6.6ポイント下回っている。

(4) 「日本の領土問題」の通過率は64.5%で、設定通過率を21.6ポイント上回っている。

(5) 「冬の季節風の風向きと選んだ理由」の通過率は46.7%で、設定通過率を2.9ポイント下回っている。

日本の主な国の位置関係の把握及び、日本の地形や海流の理解に関する問題において、日本の領土問題（北方領土）を除き、すべての問題で、設定通過率を下回る結果となっていることから、社会的事象に関する基礎的な知識の定着について課題がある。日常の授業の中で、積極的に地図帳や地球儀を活用したり、用語・語句の意味に留意して繰り返し指導したりするなど、基礎的な知識について、確実に定着できるよう、長期的に繰り返し指導していくことが必要である。

#### □ 米づくりと日本の農業に関する設問

**【大問3】** 大問3は、米づくりと日本の農業について、カレンダーや資料を読み取りながら解く、「社会的な思考・判断・表現」の観点の内容も含めた設問となっており、5つの小問により構成されている。

(1) ア「田おこしに使われる農業機械」の通過率は86.6%で、設定通過率を4.1ポイント下回っている。

(1) イ「米づくりカレンダーの工程として正しいもの」の通過率は55.7%で、設定通過率を8.3ポイント下回っている。

(2) 「米の品種改良の目的」の通過率は76.8%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

(3) 「米の生産量と作付面積の地図」の通過率は86.7%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

(4) 「グラフから米の政策を考える」の通過率は54.2%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

日本の米づくりと農業の理解に関する問題において、資料を読み取って当てはまるものを選択する問題は、設定通過率とほぼ同程度となっていることから、資料から必要な情報を読み取る力について、一定程度、定着していると考えられる。反面、田おこしで使われる農業機械や米作りの順序についての知識を問う問題において、設定通過率を下回る結果となっていることから、基本的な知識について確実に定着できるよう、社会的事象を関連する理由や背景と合わせて指導することが必要である。

#### □ 日本の水産業に関する設問

**【大問4】** 大問4は、日本の水産業について、グラフを読み取りながら解く、「観察・資料活用の技能」の観点を中心とした設問となっており、5つの小問により構成されている。

(1) ア「漁業の種類」の通過率は27.7%で、設定通過率を18ポイント下回っている。

(1) イ「制限された水域の範囲」の通過率は68.2%で、設定通過率を18.5ポイント下回っている。

- (2) 「魚介類の漁獲量・消費量・輸入量」の通過率は65.2%で、設定通過率を4.5ポイント下回っている。
- (3) 「栽培漁業の内容」の通過率は64.3%で、設定通過率を13.9ポイント下回っている。
- (4) 「漁業がかかえる課題」の通過率は88.8%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

日本の水産業に関する問題において、グラフの推移から分かることを読み取る問題は、設定通過率とほぼ同程度となっていることから、資料を読み取る基本的な技能については、一定程度、定着していると考えられる。反面、漁業の種類や制限された水域の範囲の名称など、基本的な知識を問う問題において、設定通過率を下回る結果となっていることから、基本的な知識について、確実に定着できるように、社会的事象を関連する理由や背景と合わせて指導することが必要である。また、栽培漁業の内容について記述する問題において、設定通過率を下回る結果となっていることから、用語を単に知識として覚えるだけでなく、意味を理解したり、子どもが説明したりすることができるように指導していくことが必要である。

□ 食料生産とわたしたちに関する設問

□ 活用に関する設問

【大問5】 大問5は、食料生産とわたしたちについて、グラフを読み取りながら解く、「社会的な思考・判断・表現」の観点も含めた設問となっており、7つの小問により構成されている。最終2小問では、追加の初見の資料を読み取って、思考・判断する活用力をはかる問題を設定している。

- (1) 「日本の食料自給率」の通過率は75.4%で、設定通過率を2.2ポイント上回っている。
- (2) 「おもな国の食料自給率」の通過率は71.8%で、設定通過率を4.3ポイント下回っている。
- (3) 「地産地消の利点」の通過率は54.9%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4) 「安全な食料を確保するための方法」の通過率は89.1%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (5) 「かぼちゃの国内生産量と輸入量の関係」の通過率は58.7%で、設定通過率を3.5ポイント下回っている。
- (6) ア「なすの入荷量と平均価格の関係」の通過率は54.4%で、設定通過率を9.8ポイント下回っている。
- (6) イ「食料生産と交通網の発達の関係」の通過率は51.5%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

食料生産に関する問題において、資料を読み取って当てはまるものを選択する問題は、設定通過率とほぼ同程度となっていることから、資料から必要な情報を読み取る力について、一定程度、定着していると考えられる。反面、グラフの変化や特色を読み取り、資料を説明した文章と結び付ける問題は、設定通過率を下回る結果となっていることから、資料を様々な観点から見て、分かることを読み取り、自分の言葉で詳しく記述するなど、指導の工夫が必要である。

活用に関する問題において、複数の資料を結び付けて必要な情報を読み取る力について、設定通過率を下回る結果となっていることから、今まで学習してきたことの理解をもとにして思考を深めたり、複数の資料やグラフから読み取れることを結び付けて、与えられた条件の中で表現したりする力を身に付けさせるとともに、資料から読み取ったことをもとに、社会的事象の意味について話し合うなどの指導の充実が求められる。

## ■社会学習に関する意識結果

	年度	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
日本のいろいろな町や場所のことをもっと知りたいと思う。	平成17年度	33.0	36.4	22.3	8.1
	平成20年度	26.5	46.1	22.5	4.7
	平成23年度	30.5	46.2	17.2	5.1
	平成26年度	31.4	44.5	17.9	5.7
社会の学習で疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている。	平成17年度	9.6	32.9	45.6	11.8
	平成20年度	9.7	35.0	45.2	9.9
	平成23年度	11.5	39.4	39.0	9.1
	平成26年度	13.0	43.9	34.4	8.1
地域や国土のよさを大切にしようと思う。	平成17年度	34.0	44.3	17.4	4.1
	平成20年度	41.1	40.0	15.4	3.3
	平成23年度	45.0	39.9	11.4	2.9
	平成26年度	47.1	38.7	10.6	3.0
社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている。	平成17年度	19.2	33.3	33.0	14.0
	平成20年度	22.8	33.1	31.4	12.5
	平成23年度	22.2	36.1	30.8	10.0
	平成26年度	20.5	37.2	30.7	11.0
図書館やコンピュータなどを利用して、資料を集め活用している。	平成17年度	31.9	28.2	26.3	13.3
	平成20年度	27.1	28.7	30.3	13.7
	平成23年度	23.0	32.6	29.9	13.6
	平成26年度	26.7	30.0	28.9	13.8
ニュースや新聞に出てくるできごとに興味を持っている。	平成17年度	40.0	33.4	19.0	7.3
	平成20年度	43.9	32.7	14.7	8.6
	平成23年度	44.8	35.4	12.7	6.1
	平成26年度	46.0	33.2	13.9	6.2
地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見つけて実行している。	平成17年度	14.6	37.8	35.1	12.1
	平成20年度	24.0	37.4	28.6	9.8
	平成23年度	20.0	42.8	26.1	10.0
	平成26年度	16.4	37.5	33.5	11.9

※児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層（A～D）に分けて傾向を分析（上位からA層、B層、C層、D層の順）した。「学力層別 肯定群回答割合」は、各層において肯定的に回答した児童生徒の割合。ここでは、「A層とD層の差」が大きかった質問を抽出して掲載。

質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
			よく	やや	あまり	まったく	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
2	社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている。	57.3	13.0	43.9	34.4	8.1	0.6	71.7	63.7	52.8	40.8	30.9
6	社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくるできごとに興味を持つようになった。	79.8	46.0	33.2	13.9	6.2	0.7	89.6	83.1	79.0	67.0	22.6

### <全体について>

- 平成23年度に比べて、3つの質問について肯定的な回答をした児童の割合が増加したものの、4つの質問について否定的な回答をした児童の割合が増加している。
- 成績上位層（A層）と下位層（D層）との差が大きかった質問は、「社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている」「社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくる出来事に興味をもっている」であった。自分で調べる力や意欲があることや、普段から身の回りの社会的事象に対する興味・関心が、教科学力と関わりが大きいと推察できる。

### <設問別分析>

- 「日本のいろいろな町や場所のことをもっと知りたいと思う」という質問では、肯定的な回答が75.9%であった。
- 「社会の学習で疑問をもったことについて、自分から調べるようにしている」という質問では、肯定的な回答が、56.9%であった。今後も、主体的に調べる態度を育成したい。

- 「地域や国土のよさを大切にしようと思う」という質問では、肯定的な回答が、85.8%であった。平成23年度に比べ、大きく伸びており、今後も、地域や国土を大切にする態度を育てたい。
- 「社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている」という質問では肯定的な回答が、57.7%であった。日常の授業において、地図を活用する習慣を定着させたい。
- 「図書館やコンピュータなどを利用して、資料を集め活用している」という質問では、肯定的な回答が、56.7%であった。
- 「ニュースや新聞に出てくる『出来事』に興味をもっている」という質問では、肯定的な回答が、79.2%であった。今後も、世の中の出来事についての興味・関心を引き出したい。
- 「地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見つけて実行している」という質問では、肯定的な回答が、53.9%であった。前回より大幅に下回っている。自分たちも社会を構成する一員であることやよりよい社会づくりに主体的に参画しようとする意識を育てていきたい。

### (3) 学習についてのアンケート (小5)

#### ①質問別 肯定的回答割合 (%)

肯定的回答割合は、選択肢1と2を選択した児童の割合を表示しています。  
質問中、A-D層差の大きい順に上位10問をピックアップしています。

質問番号	カテゴリー 上級: 視点 中級: 要素 下級: 小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					
				A層	B層	C層	D層	層A-Dの差	質問の順位 大きい順
86	学習方略 算数	数学(算数)の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	66.3	86.6	73.4	57.6	48.0	38.6	1
46	社会的実践力 問題解決力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	57.7	75.8	65.5	52.0	37.5	38.3	2
43	社会的実践力 問題解決力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	66.0	82.9	71.2	60.2	49.8	33.1	3
45	社会的実践力 問題解決力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	52.8	67.3	60.3	45.7	38.0	29.3	4
44	社会的実践力 問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	64.0	79.9	71.2	54.1	50.8	29.1	5
31	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方略	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	66.3	79.6	74.9	59.9	50.9	28.7	6
90	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	70.7	83.3	79.4	65.1	55.2	28.1	7
48	社会的実践力 社会参画力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	63.0	77.0	67.4	57.6	50.2	26.8	8
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	本や新聞を読んでいる。	76.5	89.2	78.7	75.5	63.2	26.0	9
52	社会的実践力 豊かな心	自分と違う意見も尊重している。	71.1	84.0	76.4	65.7	58.4	25.6	10

#### ②カテゴリーごとの平均スコア

各質問の回答を「とても：3、まあ：2、あまり：1、まったく：0」として数値化し、ある質問に全員が「とても」と回答した場合に平均スコアが100、全員が「まったく」と回答した場合に平均スコアが0になるように集計の上、カテゴリーごとに平均スコアを出しています。

カテゴリー	札幌市	札幌市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	のD-A差層
学びの基礎力	67.2	71.5	69.7	66.2	61.5	10.0
社会的実践力	65.0	73.2	68.1	62.1	56.6	16.6
学級力	67.3	66.8	70.5	67.0	64.9	1.9
家庭学習力	70.8	75.7	74.0	69.4	64.2	11.5

※本調査では、以下のような意味で質問項目を分類している。

- ・「学びの基礎力」…豊かな基礎体験、学びに向かう力など
- ・「社会的実践力」…問題解決力、自己成長力など
- ・「学級力」……………対話力、支え合う力など
- ・「家庭学習力」………家庭学習の環境や習慣について

#### ○教科学力との相関の高い質問項目について

- ・学習意識と教科学力との相関を見ると、「算数の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。」「調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。」「調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる。」の質問に肯定的に回答していることと、教科学力に高い相関が見られた。
- ・また、カテゴリー別に見ると、質問44~46、48などの「社会的実践力」において、高い相関が見られた。問題や課題を発見し、主体的に解決していく態度などの「社会的実践力」を育む指導方法等の工夫改善が求められる。

### ③学習についてのアンケート結果一覧（小5）

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					Aの差  D層	質問の大きい 順位
				A層	B層	C層	D層			
1	学びの基礎力	友だちと外で遊んでいる。	82.2	79.2	83.9	82.5	83.6	-4.4	91	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
2	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	88.3	84.4	89.5	88.5	90.7	-6.3	92	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
3	学びの基礎力	本や新聞を読んでいる。	76.5	89.2	78.7	75.5	63.2	26.0	9	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
4	学びの基礎力	パソコンやインターネットを使う。	72.6	75.8	76.8	69.9	67.7	8.1	64	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
5	学びの基礎力	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	45.7	50.4	52.8	43.1	36.4	14.0	48	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
6	学びの基礎力	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。	65.8	79.6	67.7	61.7	54.6	25.0	11	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
7	学びの基礎力	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。	76.2	85.9	79.0	71.7	68.4	17.5	35	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
8	学びの基礎力	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	91.8	93.7	93.3	91.1	89.2	4.5	78	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
9	学びの基礎力	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	76.7	79.6	78.7	76.2	72.9	6.7	67	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
10	学びの基礎力	勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	82.7	87.4	86.5	80.3	76.5	10.9	56	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
11	学びの基礎力	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	60.4	68.4	59.2	59.9	53.9	14.5	47	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
12	学びの基礎力	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	38.5	48.3	46.1	35.3	24.5	23.8	15	
	豊かな基礎体験 基礎体験									
13	学びの基礎力	朝食は毎日食べている。	92.9	97.8	95.1	93.3	85.5	12.3	52	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
14	学びの基礎力	朝、起こされなくても自分で起きている。	68.4	67.3	73.4	71.0	62.1	5.2	74	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
15	学びの基礎力	夜は決まった時間においている。	53.9	60.2	59.9	52.4	42.8	17.4	37	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
16	学びの基礎力	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	66.0	70.6	65.2	65.8	62.5	8.1	64	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
17	学びの基礎力	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	79.3	82.9	80.9	80.3	73.2	9.7	60	
	豊かな基礎体験 基本的生活習慣									
18	学びの基礎力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じる力がある。	78.3	87.4	82.8	76.6	66.5	20.9	22	
	学びに向かう力 感じ取る力									
19	学びの基礎力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	66.9	76.1	69.3	65.8	56.5	19.6	27	
	学びに向かう力 感じ取る力									
20	学びの基礎力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	81.0	87.0	86.1	79.9	71.0	16.0	42	
	学びに向かう力 感じ取る力									
21	学びの基礎力	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	89.3	94.4	94.0	89.6	79.2	15.2	44	
	学びに向かう力 学習動機									
22	学びの基礎力	学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	89.7	91.4	91.0	90.3	85.9	5.5	73	
	学びに向かう力 学習動機									
23	学びの基礎力	学校に行くのが楽しい。	83.7	84.0	88.4	83.6	79.2	4.8	77	
	学びに向かう力 学習動機									
24	学びの基礎力	同じ間違いをしないように気をつけている。	84.9	88.5	86.5	85.1	79.9	8.6	62	
	学びに向かう力 自己責任									
25	学びの基礎力	努力をすれば、自分もたいいのことはできると思う。	87.8	89.6	89.1	88.8	83.6	6.0	70	
	学びに向かう力 自己有能感									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					A の 差 D 層	質 差 問 の 大 順 位 い
				A 層	B 層	C 層	D 層			
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	91.3	94.1	94.0	90.0	87.0	7.1	66	
	学びに向かう力 達成感									
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	64.8	66.9	65.9	65.4	61.0	5.9	71	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	69.0	74.3	70.8	68.0	63.2	11.1	55	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	52.3	58.0	57.7	49.1	44.6	13.4	50	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	54.8	62.8	57.7	50.9	48.0	14.8	46	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	66.3	79.6	74.9	59.9	50.9	28.7	6	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	60.9	69.9	63.3	59.1	51.7	18.2	31	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	80.2	85.9	87.6	79.2	68.0	17.9	33	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	49.0	56.9	51.7	47.2	40.5	16.4	39	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	59.2	69.9	64.4	51.3	51.3	18.6	29	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	62.9	69.9	74.5	58.4	49.1	20.8	24	
	学びを律する力 学習継続力									
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	68.2	75.8	75.7	63.9	57.6	18.2	31	
	学びを律する力 学習継続力									
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	60.3	65.4	61.0	59.9	54.6	10.8	57	
	学びを律する力 学習のけじめ									
39	学びの基礎力	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	68.4	73.2	69.7	69.5	61.0	12.2	54	
	学びを律する力 学習のけじめ									
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	55.3	58.7	59.2	53.9	49.4	9.3	61	
	学びを律する力 学習環境の整備									
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	83.3	83.6	83.9	86.2	79.2	4.4	79	
	学びを律する力 学習環境の整備									
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	78.0	84.8	82.0	76.6	68.4	16.4	39	
	学びを律する力 授業を受ける姿勢									
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	66.0	82.9	71.2	60.2	49.8	33.1	3	
	問題解決力									
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	64.0	79.9	71.2	54.1	50.8	29.1	5	
	問題解決力									
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	52.8	67.3	60.3	45.7	38.0	29.3	4	
	問題解決力									
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	57.7	75.8	65.5	52.0	37.5	38.3	2	
	問題解決力									
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	75.4	85.5	80.1	75.8	60.6	24.9	12	
	社会参画力									
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	63.0	77.0	67.4	57.6	50.2	26.8	8	
	社会参画力									
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	79.9	88.1	83.5	75.5	72.9	15.2	44	
	豊かな心									
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	69.6	79.2	68.9	63.9	66.5	12.7	51	
	豊かな心									



質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					A の 差 D 層	質 差 問 の 大 小 の 位 置
				A 層	B 層	C 層	D 層			
51	社会的実践力 豊かな心	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	70.3	80.7	72.3	71.7	56.5	24.2	13	
52	社会的実践力 豊かな心	自分と違う意見も尊重している。	71.1	84.0	76.4	65.7	58.4	25.6	10	
53	社会的実践力 自己成長力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	72.2	76.6	74.5	71.4	66.2	10.4	58	
54	社会的実践力 自己成長力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	92.5	93.3	95.9	92.6	88.1	5.2	74	
97	学級力 やりとげる力	みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる学級です。	82.6	79.6	88.4	82.2	80.3	-0.7	87	
98	学級力 やりとげる力	係や当番の活動に責任を持って取り組む学級です。	84.5	82.5	88.8	86.2	80.7	1.8	85	
99	学級力 やりとげる力	自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動をしている学級です。	72.3	75.5	76.8	70.3	66.9	8.6	62	
100	学級力 対話力	発言している人の話を最後までしっかり聞いている学級です。	76.4	78.1	80.5	75.5	71.7	6.4	68	
101	学級力 対話力	友だちの話を賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している学級です。	85.5	91.1	89.9	85.9	75.1	16.0	42	
102	学級力 対話力	話し合いのとき、考えや意見を進んで出し合う学級です。	75.2	75.1	79.4	75.4	71.4	3.7	80	
103	学級力 支え合う力	家庭学習や考査前学習などで、教え合いをしている学級です。	85.1	84.8	88.4	85.5	81.8	3.0	84	
104	学級力 支え合う力	小さなけんかや、トラブルは、話し合いで解決できる学級です。	75.8	73.6	77.2	75.4	77.0	-3.4	90	
105	学級力 支え合う力	「ありがとう」を伝え合っている学級です。	85.9	85.1	88.8	88.4	81.4	3.7	80	
106	学級力 共生力	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている学級です。	56.9	56.1	62.9	52.0	56.9	-0.8	88	
107	学級力 共生力	友だちの間に上下関係がなく、誰とでも平等に接している学級です。	76.7	73.6	82.0	78.1	73.2	0.4	86	
108	学級力 共生力	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級です。	75.1	77.3	77.9	74.0	71.0	6.3	69	
109	学級力 規律力	授業中にむだなおしゃべりをしない学級です。	40.6	39.8	45.3	36.4	40.9	-1.1	89	
110	学級力 規律力	あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている学級です。	65.1	68.8	70.0	63.6	58.4	10.4	58	
111	学級力 規律力	校外でも人の迷惑にならないように考えて行動できる学級です。	77.6	79.2	81.3	76.2	74.0	5.2	74	
112	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	86.9	88.1	89.5	88.1	82.2	5.9	71	
113	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	73.4	85.1	76.4	69.9	62.5	22.6	19	
114	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	86.0	94.8	90.3	84.0	74.7	20.1	26	
115	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	84.4	85.1	88.4	82.5	81.4	3.7	80	
116	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	74.8	82.2	77.9	73.2	65.8	16.4	39	
117	家庭学習力	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	67.1	74.3	75.7	61.9	56.9	17.4	37	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					A の 差 D 層	差 問 の 大 順 位
				A 層	B 層	C 層	D 層			
118	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	45.7	46.3	48.3	45.5	42.8	3.5	83	
81	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	65.1	75.1	70.0	62.8	52.2	22.9	17	
82	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	77.2	82.2	80.1	78.1	68.7	13.5	49	
83	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	68.5	78.8	75.3	64.3	56.0	22.8	18	
84	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	74.5	81.8	77.2	76.2	63.2	18.6	29	
85	学習方略 算数	数学(算数)の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	58.8	62.5	61.0	61.7	50.2	12.3	52	
86	学習方略 算数	数学(算数)の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	66.3	86.6	73.4	57.6	48.0	38.6	1	
87	学習方略 算数	数学(算数)の宿題で、文章題を作ったことがある。	48.7	57.6	54.7	47.2	35.3	22.3	20	
88	学習方略 算数	数学(算数)の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	65.9	75.5	71.9	64.3	52.0	23.5	16	
89	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	66.2	72.1	70.4	68.0	54.6	17.5	35	
90	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	70.7	83.3	79.4	65.1	55.2	28.1	7	
91	学習方略 社会	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	56.0	65.8	61.4	52.4	44.6	21.2	21	
92	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	58.2	66.2	57.3	62.1	47.4	18.8	28	
93	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組み前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	88.9	96.3	93.3	87.7	78.4	17.9	33	
94	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	74.3	86.2	79.0	69.9	62.1	24.1	14	
95	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	73.5	82.2	79.8	70.6	61.3	20.9	22	
96	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	72.8	81.0	75.3	74.7	60.2	20.8	24	
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	63.7	71.4	66.7	61.7	55.0	16.4		
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	51.2	68.4	53.9	44.6	37.9	30.5		
57	教科について 教科の好き嫌い	算数	64.8	75.8	71.5	64.3	48.0	27.8		
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	83.6	85.9	84.3	86.2	78.4	7.5		
59	教科について 教科の好き嫌い	音楽	76.2	79.6	73.4	77.0	74.7	4.9		
60	教科について 教科の好き嫌い	図画工作・美術	77.6	81.4	73.4	78.1	77.3	4.1		
61	教科について 教科の好き嫌い	保健体育	86.0	82.9	85.8	84.8	90.7	-7.8		
62	教科について 教科の好き嫌い	家庭	82.9	84.0	83.1	84.8	79.6	4.4		

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					質問の 大きさ 順位
				A層	B層	C層	D層	Aの 差 D層	
63	教科について	総合的な学習の時間	76.8	79.9	80.9	77.3	69.1	10.8	
	教科の好き嫌い								
64	教科について	道徳	71.4	71.4	71.2	72.9	70.3	1.1	
	教科の好き嫌い								
65	教科について	学級活動	78.5	81.8	82.4	78.8	71.4	10.4	
	教科の好き嫌い								
66	教科について	国語	85.1	95.2	89.5	82.5	73.2	22.0	
	教科の理解度								
67	教科について	社会	69.4	88.8	78.7	65.1	45.4	43.4	
	教科の理解度								
68	教科について	算数	76.2	90.0	84.6	72.1	58.4	31.6	
	教科の理解度								
69	教科について	理科	90.0	95.9	91.8	89.2	83.3	12.6	
	教科の理解度								
70	教科について	音楽	85.0	88.1	84.3	83.6	84.0	4.1	
	教科の理解度								
71	教科について	図画工作・美術	87.4	88.5	84.6	91.4	85.1	3.4	
	教科の理解度								
72	教科について	保健体育	87.8	87.0	87.6	87.4	89.2	-2.2	
	教科の理解度								
73	教科について	家庭	83.2	85.9	82.8	84.0	80.2	5.7	
	教科の理解度								

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答
77	要素 学習時間	札幌市	5.7	18.0	28.7	19.6	10.1	7.6	10.1	0.2
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	4.1	14.1	30.5	17.5	12.6	7.8	13.0	0.4
		B層	3.4	16.1	24.7	23.2	11.6	9.7	11.2	0.0
		C層	7.1	16.0	29.0	22.7	8.2	7.1	10.0	0.0
D層	8.2	25.3	30.5	15.2	8.2	5.9	6.3	0.4		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する	その他無回答
78	要素 学習時間	札幌市	13.3	23.7	28.6	14.9	8.7	4.4	6.4	0.0
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	A層	10.8	16.7	28.3	18.2	8.2	6.3	11.5	0.0
		B層	9.0	22.8	32.6	13.1	12.0	4.9	5.6	0.0
		C層	14.1	25.7	26.8	16.7	8.2	3.7	4.8	0.0
D層	19.0	29.7	26.8	11.5	6.7	2.6	3.7	0.0		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			0さつ	1、2さつ	3、4さつ	5、6さつ	7、8さつ	9、10さつ	11さつ以上	その他無回答
74	要素 読書冊数	札幌市	8.5	26.2	21.9	14.9	8.0	5.6	14.3	0.7
	小要素									
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	A層	5.2	19.3	22.3	16.4	7.1	5.2	23.4	1.1
		B層	8.2	25.1	21.0	18.7	7.9	6.7	12.4	0.0
		C層	7.4	29.4	24.5	15.2	7.4	4.5	10.4	1.1
D層	13.0	31.2	19.3	9.3	9.7	5.9	11.2	0.4		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	その他無回答
75	要素 テレビを見る時間	札幌市	5.0	7.3	15.2	16.4	16.8	11.6	27.1	0.7
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	6.3	11.2	19.0	16.4	14.1	11.5	20.8	0.7
		B層	4.5	7.9	14.6	16.1	19.1	16.5	21.3	0.0
		C層	3.7	4.5	15.6	16.7	17.5	8.2	32.7	1.1
D層	5.6	5.6	11.5	16.0	16.7	10.4	33.5	0.7		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く見る	その他無回答
76	要素 テレビを見る時間	札幌市	6.2	3.8	11.2	12.5	18.2	10.9	37.2	0.0
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	A層	4.5	3.7	15.2	16.7	19.3	13.0	27.5	0.0
		B層	4.5	4.5	9.4	12.0	22.8	10.5	36.3	0.0
		C層	7.4	1.5	10.8	12.6	16.7	11.2	39.8	0.0
D層	8.6	5.6	9.3	8.6	13.8	8.9	45.4	0.0		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	その他無回答
79	要素 ゲームをする時間	札幌市	22.5	20.2	20.2	12.9	9.1	4.1	11.0	0.0
	小要素 平日									
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	33.1	21.6	18.2	11.2	8.6	3.3	4.1	0.0
		B層	20.2	19.9	24.7	14.2	9.4	3.4	8.2	0.0
		C層	20.8	21.6	20.1	12.3	8.6	5.2	11.5	0.0
D層	16.0	17.8	17.8	13.8	10.0	4.5	20.1	0.0		
質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長くゲームをする	その他無回答
80	要素 ゲームをする時間	札幌市	16.6	15.3	17.6	13.0	12.6	6.5	18.5	0.0
	小要素 休日									
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	A層	22.7	18.2	21.2	12.3	9.7	5.2	10.8	0.0
		B層	15.0	10.9	19.5	15.7	14.2	9.7	15.0	0.0
		C層	17.5	15.2	14.9	11.2	14.1	5.2	21.9	0.0
D層	11.2	16.7	14.9	13.0	12.3	5.9	26.0	0.0		

④札幌市全体の共通指標に基づく質問

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
119	要素	追加質問	全体	69.4	25.4	44	25.2	5.4	0
	小要素		A層	78.4	32.3	46.1	18.2	3.3	0
			B層	70	25.8	44.2	25.5	4.5	0
			C層	63.6	22.3	41.3	32.7	3.7	0
			D層	65.4	21.2	44.2	24.5	10	0
		A-D層	13						
120	要素	追加質問	全体	68.7	28.1	40.6	25.2	6.1	0
	小要素		A層	81.8	39.8	42	15.2	3	0
			B層	76	32.6	43.4	18.7	5.2	0
			C層	63.2	22.7	40.5	31.6	5.2	0
			D層	53.9	17.5	36.4	34.9	11.2	0
		A-D層	27.9						
121	要素	追加質問	全体	82.7	56.3	26.4	11.3	6	0
	小要素		A層	88.5	58	30.5	8.2	3.3	0
			B層	85.8	67	18.7	9.4	4.9	0
			C層	84.8	51.3	33.5	10.4	4.8	0
			D層	71.7	48.7	23	17.5	10.8	0
		A-D層	16.8						
122	要素	追加質問	全体	68	32.1	35.9	24.5	7.5	0
	小要素		A層	76.6	41.6	34.9	17.5	5.9	0
			B層	74.2	37.5	36.7	19.9	6	0
			C層	67.7	28.6	39	27.5	4.8	0
			D層	53.5	20.8	32.7	33.1	13.4	0
		A-D層	23.1						
123	要素	追加質問	全体	77.5	36.7	40.8	16.4	6.1	0
	小要素		A層	81	39.8	41.3	12.3	6.7	0
			B層	82	37.8	44.2	13.9	4.1	0
			C層	72.9	34.9	37.9	21.9	5.2	0
			D層	74	34.2	39.8	17.5	8.6	0
		A-D層	7						
124	要素	追加質問	全体	80.9	47.4	33.5	15.2	3.9	0
	小要素		A層	84.8	51.7	33.1	13.4	1.9	0
			B層	83.9	52.8	31.1	11.6	4.5	0
			C層	81.4	42.8	38.7	15.2	3.3	0
			D層	73.6	42.8	30.9	20.4	5.9	0
		A-D層	11.2						
125	要素	追加質問	全体	57	27.5	29.5	31.2	11.8	0
	小要素		A層	66.2	34.2	32	25.7	8.2	0
			B層	60.7	29.2	31.5	31.5	7.9	0
			C層	51.7	25.3	26.4	33.8	14.5	0
			D層	49.8	21.6	28.3	33.5	16.7	0
		A-D層	16.4						
126	要素	追加質問	全体	70.4	30.3	40.1	24.2	5.4	0
	小要素		A層	85.5	42.4	43.1	13	1.5	0
			B層	76.8	36	40.8	19.9	3.4	0
			C層	62.1	23.8	38.3	32.7	5.2	0
			D層	57.2	19.3	37.9	31.2	11.5	0
		A-D層	28.3						
127	要素	追加質問	全体	68.4	30.4	38	22.7	8.8	0.1
	小要素		A層	80.2	39.8	40.1	15.2	4.5	0.4
			B層	77.9	36.7	41.2	16.5	5.6	0
			C層	59.9	24.5	35.3	30.1	10	0
			D層	56.1	20.8	35.3	28.6	15.2	0
		A-D層	24.1						
128	要素	追加質問	全体	53.3	26.1	27.1	29.2	17.5	0.1
	小要素		A層	71.3	41.6	29.4	22.3	6.3	0.4
			B層	57.3	31.1	26.2	31.1	11.6	0
			C層	46.5	17.8	28.6	30.1	23.4	0
			D層	38.3	14.1	24.2	33.1	28.6	0
		A-D層	33						
129	要素	追加質問	全体	83.3	48.7	34.7	13.2	3.4	0
	小要素		A層	88.1	53.2	34.9	10	1.9	0
			B層	86.9	55.4	31.5	10.1	3	0
			C層	83.3	46.5	36.8	13.8	3	0
			D層	75.1	39.8	35.3	19	5.9	0
		A-D層	13						

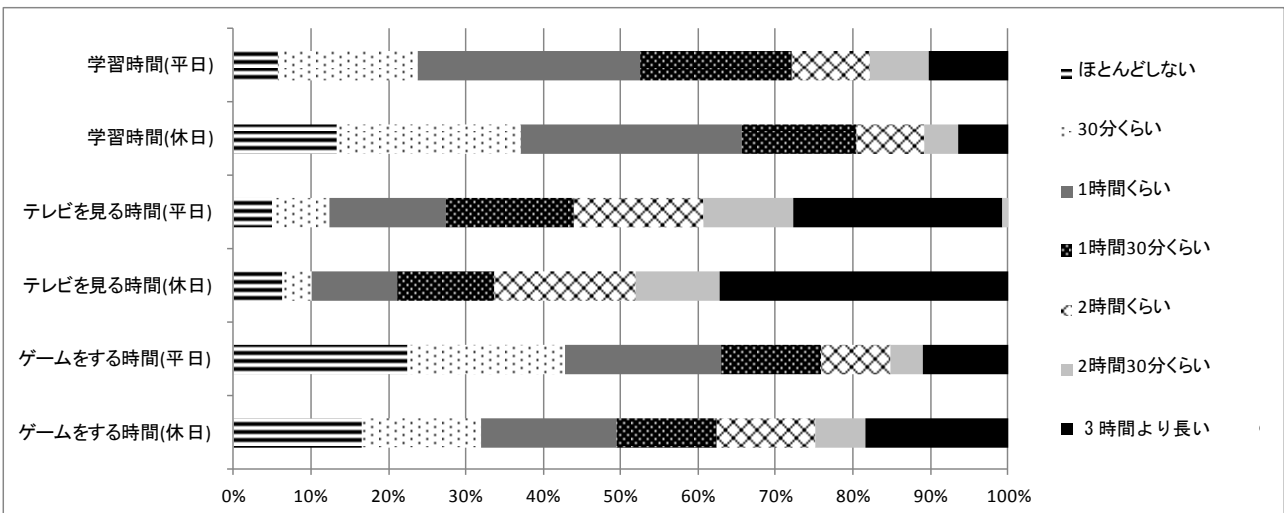
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
130	要素	追加質問	全体	84.4	46.9	37.5	12.7	2.9	0
	小要素		A層	90	52	37.9	8.6	1.5	0
			B層	89.1	53.6	35.6	9.4	1.5	0
			C層	82.9	42.4	40.5	15.6	1.5	0
			D層	75.5	39.4	36.1	17.5	7.1	0
		A-D層	14.5						
131	要素	追加質問	全体	88.8	57.8	31.1	8.5	2.7	0
	小要素		A層	94.8	65.4	29.4	3	2.2	0
			B層	93.6	66.7	27	4.9	1.5	0
			C層	87	52	34.9	11.5	1.5	0
			D層	80.3	47.2	33.1	14.1	5.6	0
		A-D層	14.5						
132	要素	追加質問	全体	95.6	88.7	7	2.3	2	0
	小要素		A層	95.2	88.1	7.1	2.2	2.6	0
			B層	96.3	92.1	4.1	1.9	1.9	0
			C層	97	90.3	6.7	1.5	1.5	0
			D層	94.1	84	10	3.7	2.2	0
		A-D層	1.1						
133	要素	追加質問	全体	78.1	41.5	36.6	16.4	5.5	0.1
	小要素		A層	78.7	44.6	33.8	14.9	6.3	0.4
			B層	83.1	43.4	39.7	12	4.9	0
			C層	77.7	35.7	42	18.6	3.7	0
			D層	72.9	42	30.9	20.1	7.1	0
		A-D層	5.8						
134	要素	追加質問	全体	71	41	29.9	18.4	10.5	0.2
	小要素		A層	69.5	41.6	27.9	19.3	11.2	0
			B層	72.9	40.4	32.2	16.1	10.9	0.4
			C層	72.8	39.4	33.1	19.7	7.4	0.4
			D層	68.8	42.4	26.4	18.6	12.6	0
		A-D層	0.7						
135	要素	追加質問	全体	76.2	48.7	27.3	14.6	9.1	0.3
	小要素		A層	81.8	55	26.8	11.9	6.3	0
			B層	75.6	51.3	24	13.9	10.5	0.4
			C層	76.9	48	28.6	14.1	8.9	0.4
			D層	70.5	40.5	29.7	18.6	10.8	0.4
		A-D層	11.3						
136	要素	追加質問	全体	87.5	64.6	22.6	8.7	3.7	0.4
	小要素		A層	88.8	63.6	25.3	8.6	2.6	0
			B層	89.1	70.4	18	7.5	3.4	0.7
			C層	86.9	64.3	21.9	9.3	3.7	0.7
			D層	85.1	59.9	25.3	9.7	5.2	0
		A-D層	3.7						

### ○札幌市全体の共通指標に基づく質問について

- ・肯定的な回答の割合が多い質問は、「学校で好きな授業がある」(95.6%)となっている。
- ・次に肯定的な回答が多い質問は、「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」(88.8%)、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある」(84.4%)、「授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている」(83.3%)であり、学習に意欲的に取り組み、他者から学ぶことが大切であると認識している児童が多いと推察される。
- ・一方で、「授業中、自分の意見を進んで発言している」については、肯定的回答が53.3%と低い状況である。この項目は、教科学力と相関が高くなっており(A-D層の差が33.0ポイント)、一人一人に自分の意見をもたせ、自信をもって発言できるように促す活動を大切にすることが求められる。
- ・また、「意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている」についても教科学力との相関が高くなっており(A-D層の差が28.3ポイント)、一人一人が根拠を明確にして自分の考えや意見を書く活動を大切にすることが必要である。

⑤学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

質問番号	質問内容	母集団	選択肢別回答割合(%)							その他無回答	
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する		
77	要素 学習時間 あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	札幌市	5.7	18.0	28.7	19.6	10.1	7.6	10.1	0.2	
		札幌市	A層	4.1	14.1	30.5	17.5	12.6	7.8	13.0	0.4
			B層	3.4	16.1	24.7	23.2	11.6	9.7	11.2	0.0
			C層	7.1	16.0	29.0	22.7	8.2	7.1	10.0	0.0
			D層	8.2	25.3	30.5	15.2	8.2	5.9	6.3	0.4
78	要素 学習時間 あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	札幌市	13.3	23.7	28.6	14.9	8.7	4.4	6.4	0.0	
		札幌市	A層	10.8	16.7	28.3	18.2	8.2	6.3	11.5	0.0
			B層	9.0	22.8	32.6	13.1	12.0	4.9	5.6	0.0
			C層	14.1	25.7	26.8	16.7	8.2	3.7	4.8	0.0
			D層	19.0	29.7	26.8	11.5	6.7	2.6	3.7	0.0
75	要素 テレビを見る時間 あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	札幌市	5.0	7.3	15.2	16.4	16.8	11.6	27.1	0.7	
		札幌市	A層	6.3	11.2	19.0	16.4	14.1	11.5	20.8	0.7
			B層	4.5	7.9	14.6	16.1	19.1	16.5	21.3	0.0
			C層	3.7	4.5	15.6	16.7	17.5	8.2	32.7	1.1
			D層	5.6	5.6	11.5	16.0	16.7	10.4	33.5	0.7
76	要素 テレビを見る時間 あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	札幌市	6.2	3.8	11.2	12.5	18.2	10.9	37.2	0.0	
		札幌市	A層	4.5	3.7	15.2	16.7	19.3	13.0	27.5	0.0
			B層	4.5	4.5	9.4	12.0	22.8	10.5	36.3	0.0
			C層	7.4	1.5	10.8	12.6	16.7	11.2	39.8	0.0
			D層	8.6	5.6	9.3	8.6	13.8	8.9	45.4	0.0
79	要素 ゲームをする時間 あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	札幌市	22.5	20.2	20.2	12.9	9.1	4.1	11.0	0.0	
		札幌市	A層	33.1	21.6	18.2	11.2	8.6	3.3	4.1	0.0
			B層	20.2	19.9	24.7	14.2	9.4	3.4	8.2	0.0
			C層	20.8	21.6	20.1	12.3	8.6	5.2	11.5	0.0
			D層	16.0	17.8	17.8	13.8	10.0	4.5	20.1	0.0
80	要素 ゲームをする時間 あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	札幌市	16.6	15.3	17.6	13.0	12.6	6.5	18.5	0.0	
		札幌市	A層	22.7	18.2	21.2	12.3	9.7	5.2	10.8	0.0
			B層	15.0	10.9	19.5	15.7	14.2	9.7	15.0	0.0
			C層	17.5	15.2	14.9	11.2	14.1	5.2	21.9	0.0
			D層	11.2	16.7	14.9	13.0	12.3	5.9	26.0	0.0



○学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

- ・学校の授業以外に勉強をする時間については、「ほとんどしない」「30分くらい」を合わせると、平日で23.7%、休日で37.0%となっており、学習習慣づくりの大切さなどについて、学校から積極的に、子ども、保護者に対して啓発することが求められる。
- ・教科学力とテレビを見る時間との関係を見ると、教科学力が高いA層において、平日にテレビを見る時間が2時間以内となっている児童の割合が高い傾向がある。(2時間以内の児童の割合は、A層: 67.7%、D層: 56.1%)
- ・教科学力とゲームをする時間との関係を見ると、平日、休日ともに、教科学力が高いA層において、ゲームをする時間が、ほとんどないか、30分~1時間程度の児童の割合が高い傾向がある。(1時間程度以内の児童の割合は、平日でA層: 54.7%、D層: 33.8%)

[参考] 教科の好き嫌いと理解度についての肯定的回答割合

教科	好き	理解度
国語	63.7	85.1
社会	51.2	69.4
算数	64.8	76.2
理科	83.6	90.0
音楽	76.2	85.0
図画工作	77.6	87.4
保健体育	86.0	87.8
家庭	82.9	83.2
総合的な学習の時間・生活	76.8	
道徳	71.4	
学級活動	78.5	

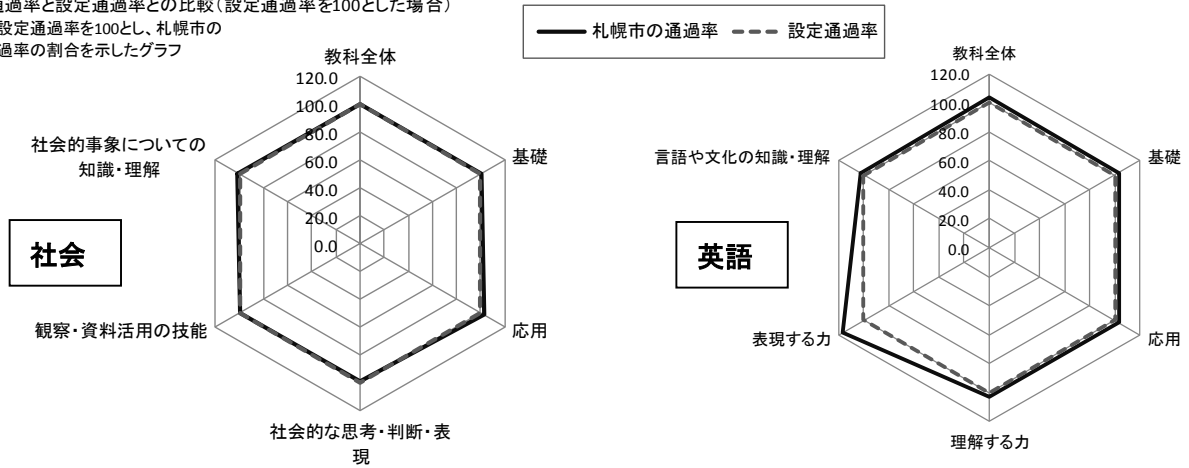


## 2 中学校第2学年（社会・英語）

### (1) 全体概要

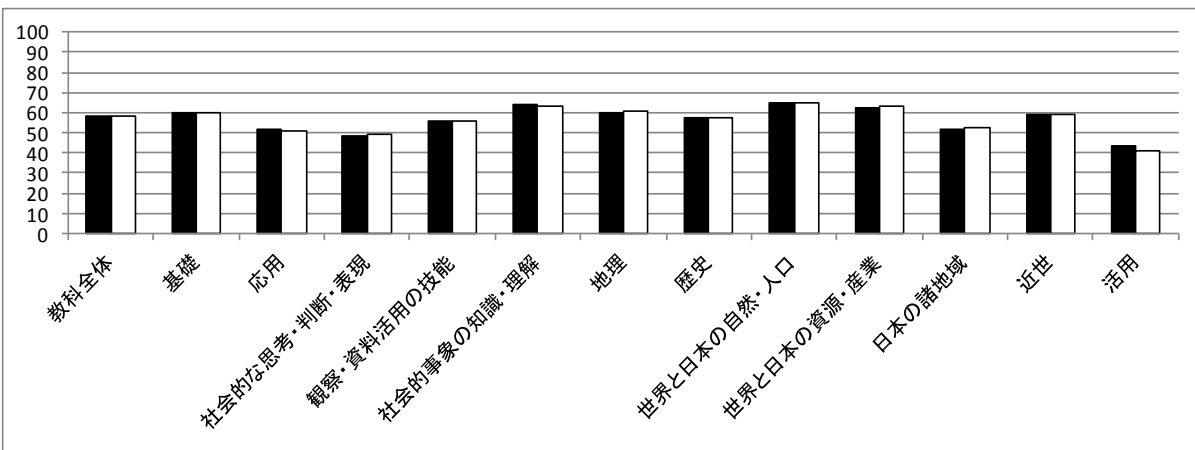
#### ■通過率と設定通過率との比較(社会・英語)

■通過率と設定通過率との比較(設定通過率を100とした場合)  
 ※設定通過率を100とし、札幌市の通過率の割合を示したグラフ



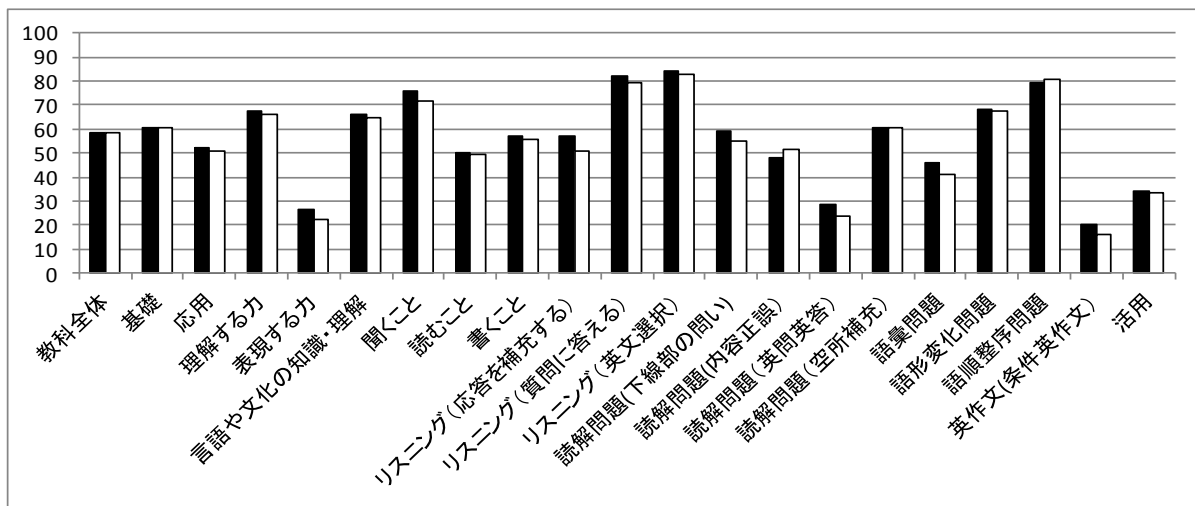
#### ■全体概要

##### ○社会



■ 設定通過率  
 □ 札幌市の通過率

##### ○英語



■ 設定通過率  
 □ 札幌市の通過率

## 【通過率】

### ○社会

- ・教科全体で見ると、設定通過率が 58.4%であるのに対して、札幌市の通過率は 58.6%であり、設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。( +0.2 ポイント)
- ・基礎と応用で見ると、「基礎」「応用」ともに設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。
- ・観点別に見ると、「社会的事象の知識・理解」については設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っているが、他はほぼ同程度だがやや下回っている。
- ・領域別に見ると、「地理」については設定通過率とほぼ同程度だがやや下回っており、「歴史」については設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。

### ○英語

- ・教科全体で見ると、設定通過率が 58.9%であるのに対して、札幌市の通過率は 61.0%であり、設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。( +2.1 ポイント)
- ・基礎と応用で見ると、「基礎」「応用」ともに設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。
- ・観点別に見ると、「表現する力」については設定通過率を上回っているが、他は設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。
- ・領域別に見ると、「聞くこと」については設定通過率を上回っているが、他は設定通過率とほぼ同程度だがやや上回っている。

## (2) 社会

### ■通過率と設定通過率との比較

項目	平成17年度			平成20年度			平成23年度			平成26年度			
	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	
教科全体	61.9	61.3	0.6	65.0	61.3	3.7	63.1	59.1	4.0	58.6	58.4	0.2	
基礎	62.6	61.3	1.3	66.0	61.3	4.7	62.4	58.2	4.2	60.3	60.2	0.1	
応用	60.3	61.3	-1.0	63.0	61.3	1.7	64.7	61.4	3.3	52.1	50.9	1.2	
観点	社会的な思考・判断・表現	63.4	64.9	-1.6	65.9	64.9	1.0	60.7	56.6	4.1	48.5	49.0	-0.5
	観察・資料活用の技能	63.2	65.2	-2.0	64.5	65.2	-0.7	65.5	61.4	4.1	55.9	56.2	-0.3
	社会的事象についての知識・理解	59.9	58.5	1.4	63.4	58.5	4.9	62.1	58.4	3.7	63.8	62.9	0.9

## 【経年比較】

### ■札幌市の通過率と設定通過率との差異

- ・教科全体における設定通過率との差は、平成 23 年度と比べ、下回っている。( -3.8 ポイント)
- ・観点別に見ると、平成 23 年度と比べ、「社会的事象についての知識・理解」については、設定通過率との差は設定通過率を上回ってはいるが小さくなり、「社会的な思考・判断・表現」、「観察・資料活用の技能」は設定通過率との差が小さくなり設定通過率をやや下回る状況である。

■設問別通過率

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	札幌 市の通 過率 (平均)	設定 通過率	観 点			領 域		単 元				
大問	小問						社会的 判断・ 表現	観 察・ 資料 活用	社会的 事象の 知 識・ 理解	地 理	歴 史	世界と 日本の 自 然・ 人口	世界と 日本の 資 源・ 産業	日本 の諸 地域	近 世	活 用
1	1	日本の扇状地を問う問題	基礎	短答式	42.5	43.3			●	■		◆				
1	2	中部地方内の地域区分を問う問題	基礎	選択式	60.3	56.2			●	■				◆		
1	3	ヨーロッパの世界進出を問う問題	基礎	選択式	66.2	66.8			●		■					◆
1	4	江戸時代の庶民教育を問う問題	基礎	選択式	86.9	86.7			●		■					◆
2	1	世界の造山帯を問う問題	基礎	短答式	48.8	48.8			●	■		◆				
2	2	日本の地形や気候を問う問題	基礎	選択式	77.1	83.4			●	■		◆				
2	3	日本の冬の気候の特徴を問う問題	基礎	選択式	72.6	67.6			●	■		◆				
2	4	日本の川の特徴を問う問題	応用	記述式	71.9	71.6	●			■		◆				
3	1	日本の人口構成の特徴を問う問題	基礎	選択式	75.0	75.3		●		■		◆				
3	2	国内輸送割合の変化のグラフを読み取る問題	基礎	選択式	61.4	65.7		●		■			◆			
3	3	日本の工業地帯・地域を問う問題	基礎	選択式	64.6	67.2		●		■			◆			
3	4	日本の産業の特徴を問う問題	基礎	選択式	61.6	56.1			●	■			◆			
4	1	中部地方の人口集中の特徴を問う問題	基礎	短答式	59.3	64.1			●	■				◆		
4	2	中部地方の工業の特徴を問う問題	基礎	選択式	53.1	58.7	●			■				◆		
4	3	中部地方の農業の特徴を問う問題	応用	選択式	47.5	50.2		●		■				◆		
4	4	北陸地方で伝統産業が発達した理由を問う問題	応用	記述式	39.3	34.0	●			■				◆		
5	1	織田信長が鉄砲を用いた戦いを問う問題	基礎	選択式	79.5	83.5			●		■					◆
5	2	豊臣秀吉の政策を問う問題	基礎	選択式	81.9	84.1			●		■					◆
5	3	江戸幕府の大名統制を問う問題	基礎	選択式	76.8	79.3			●		■					◆
5	4	近世初期の外交政策の変化を問う問題	応用	選択式	60.2	61.7	●			■						◆
6	1	南蛮貿易を問う問題	基礎	選択式	36.3	40.9	●			■						◆
6	2	江戸時代初期の外交を問う問題	基礎	選択式	47.1	41.5		●			■					◆
6	3	江戸時代の学問を問う問題	基礎	選択式	74.7	76.5			●		■					◆
6	4	江戸時代の交通の発達を問う問題	基礎	選択式	36.4	33.3		●			■					◆
7	1	江戸時代の政治改革を問う問題	基礎	短答式	36.2	31.9			●		■					◆
7	2	江戸時代の文化を問う問題	基礎	選択式	38.7	42.2			●		■					◆
7	3	田沼意次の政治改革を問う問題	基礎	選択式	38.1	31.1			●		■					◆
7	4	江戸時代の政治改革の順序を問う問題	基礎	選択式	54.3	54.7	●				■					◆
7	5	ア 江戸時代の農業の発展を問う問題	応用	選択式	69.2	65.5			●		■					◆
7	5	イ 江戸幕府による大名の配置と負担を問う問題	応用	記述式	18.1	16.3	●				■					◆

□ 世界と日本の自然

【大問1】 大問1は、地理・歴史の両方の領域における複数の単元の内容について、小問集合の形式で問う設問となっており、4つの小問により構成されている。

- (1) 「日本の扇状地」の通過率は42.5%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (2) 「中部地方内の地域区分」の通過率は60.3%で、設定通過率を4.1ポイント上回っている。
- (3) 「ヨーロッパの世界進出」の通過率は66.2%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4) 「江戸時代の庶民教育」の通過率は86.9%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

【大問2】 大問2は、世界と日本の自然について、世界と比較しながら日本の様子を大観する内容を、「社会的事象の知識・理解」の観点を中心として問う設問となっており、4つの小問により構成されている。

- (1) 「世界の造山帯」の通過率は48.8%で、設定通過率と同様となっている。
- (2) 「日本の地形や気候」の通過率は77.1%で、設定通過率を6.3ポイント下回っている。
- (3) 「日本の冬の気候の特徴」の通過率は72.6%で、設定通過率を5.0ポイント上回っている。
- (4) 「日本の川の特徴」の通過率は71.9%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

世界と日本の自然における通過率は、5問中3問が7割を超えており、同設問に関する理解はほぼ定着していると考えられる。しかし、「日本の扇状地」「世界の造山帯」における通過率が5割に到達していないことや、「日本の地形や気候」における通過率のみ、設定通過率を下回っている点については注視する必要がある。日本の自然環境の特徴については、1年生で学習した「世界地理」の学習内容を振り返り、世界と日本を比較しながら学習を進めていくことが理解の深化につながることから、気温と降水量のグラフ（雨温図）、気候の分布図など、資料の読み取りに

慣れさせる指導が一層必要となる。

□ 世界と日本の人口

□ 世界と日本の資源・産業

【大問3】 大問3は、世界と日本の人口、資源・産業に関する設問である。人口ピラミッドやグラフを読み取りながら解く、「観察・資料活用の技能」の観点を中心とした設問となっており、4つの小問により構成されている。

- (1) 「日本の人口構成の特徴」の通過率は75.0%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (2) 「国内輸送割合の変化」の通過率は61.4%で、設定通過率を4.3ポイント下回っている。
- (3) 「日本の工業地帯・地域」の通過率は64.6%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4) 「日本の産業の特徴」の通過率は61.6%で、設定通過率を5.5ポイント上回っている。

世界と日本の人口、資源・産業における通過率は、4問全てが6割を超えており、また、設定通過率とほぼ同程度、もしくは上回っているため、同設問に関する理解はほぼ定着していると考えられる。しかし、「国内輸送割合の変化」における通過率のみ、設定通過率を下回っている点について注視する必要がある。この小問は、複数の説明から、円グラフについて一つ一つ読み取っていく粘り強さが求められる。複数の資料から必要な情報をじっくりと読み取らせていく指導を繰り返し行っていく必要がある。

□ 日本の諸地域（中部地方）

【大問4】 大問4は、日本の諸地域（中部地方）に関する設問である。「社会的事象についての知識・理解」「社会的な思考・判断」の観点に分けて問う設問となっており、4つの小問により構成している。

- (1) 「中部地方の人口集中の特徴」の通過率は59.3%であり、設定通過率を4.8ポイント下回っている。
- (2) 「中部地方の工業の特徴」の通過率は53.1%であり、設定通過率を5.6ポイント下回っている。
- (3) 「中部地方の農業の特徴」の通過率は47.5%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4) 「北陸地方で伝統産業が発達した理由」の通過率は39.3%であり、5.3ポイント上回っている。

日本の諸地域の学習では、「動的に扱う」ことが求められ、「思考・判断・表現」を伴う活動が重要となるが、考える基礎となる、各地方の自然、産業、人口、文化などに関する知識を習得させたうえで、深く考えさせる、というステップが必要となる。

「社会的事象についての知識・理解」に関する問題(1)(2)の通過率が、5割程度であることや、設定通過率を下回っていることから、基本的な知識・理解について、確実に定着できるよう、振り返りの指導が必要である。

「社会的な思考・判断・表現」に関する問題(3)(4)の通過率は、設定通過率とほぼ同程度、もしくは上回っているものの、5割に到達していないことから、「そのような社会的事象が起こったのはなぜか」等の学習課題について、複数の資料から読み取ったことを関連付けて、説

明するなど、課題探究的な学習の充実を図っていくことが必要である。

## □ 近世

大問5・6・7は、近世に関する設問である。

【大問5】 安土桃山時代から江戸時代初期について、年表を見ながら解く「社会的事象の知識・理解」の観点を中心とした設問となっており、4つの小問により構成している。

- (1) 「織田信長が鉄砲を用いた戦い」の通過率は79.5%であり、設定通過率を4.0ポイント下回っている。
- (2) 「豊臣秀吉の政策」の通過率は81.9%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (3) 「江戸幕府の大名統制」の通過率は76.8%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4) 「近世初期の外交政策の変化」の通過率は60.2%となっており、設定通過率とほぼ同程度となっている。

「社会的事象の知識・理解」の観点を中心とした、安土桃山時代から江戸時代初期の設問の通過率は、4問全てが6割を超えており、また、(1)を除いては、設定通過率とほぼ同程度となっているので、同設問に関する理解はほぼ定着していると考えられる。

【大問6】 近世に関する設問である。安土桃山時代から江戸時代の文化について、写真資料を見ながら解く「観察・資料活用の技能」の観点を中心とした設問となっており、4つの小問により構成している。

- (1) 「南蛮貿易」の通過率は36.3%であり、設定通過率を4.6ポイント下回っている。
- (2) 「江戸時代初期の外交」の通過率は47.1%であり、設定通過率を5.6ポイント上回っている。
- (3) 「江戸時代の学問」の通過率は74.7%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4) 「江戸時代の交通の発達」の通過率は36.4%であり、設定通過率を3.1ポイント上回っている。

「観察・資料活用の技能」の観点を中心とした、安土桃山時代から江戸時代の設問の通過率は、(2)～(4)においては、設定通過率とほぼ同程度、もしくは上回っている。(1)の通過率については、設定通過率を下回っている。(1)(2)(4)については、5割に到達していない。

各時代の文化の学習においては、歴史的分野の学習が重視する各時代の特色の理解を、文化の面について図ろうとするものであり、代表的な事例を通して、その時代の文化の特色を知識として単独で理解するのではなく、文化を担った人々や外国とのかかわりなどに着目して考えさせるよう、資料などを活用した指導の工夫が求められる。

【大問7】 大問7は、江戸時代の政治改革について、「社会的事象の知識・理解」「社会的な思考・判断・表現」の観点を設問となっており、6つの小問により構成している。そのうち、最終2小問では、思考・判断する活用問題を設定している。

- (1) 「江戸時代の政治改革」の通過率は36.2%であり、設定通過率を4.3ポイント上回っている。
- (2) 「江戸時代の文化」の通過率は38.7%であり、設定通過率を3.5ポイント下回っている。
- (3) 「田沼意次の政治改革」の通過率は38.1%であり、設定通過率を7.0ポイント上回っている。

いる。

- (4) 「江戸時代の政治改革の順序」の通過率は 54.3%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (5) ア 「江戸時代の農業の発展」の通過率は 69.2%であり、設定通過率を 3.7 ポイント上回っている。
- (6) イ 「江戸幕府による大名の配置と負担」の通過率は 18.1%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。

「社会的事象についての知識・理解」に関する問題(1)(3)(4)の通過率は、設定通過率とほぼ同程度、もしくは上回っているものの、そのうち2小問は5割に到達していない。(2)の通過率については、設定通過率を下回っているとともに、5割に到達していない。

重要な人物とその政策や、鉄砲の伝来・キリスト教、鎖国の内容など海外との関わりを整理させることが効果的であり、また、江戸時代は長く平安が続いた時代であるため、平安をもたらし幕藩体制、そして節目ごとに行われた改革の詳細をおさえることで、江戸時代を大観させることが重要である。そのためには、歴史的事象間の関連を説明したり、意見交換したりするなどの課題探究的な学習の充実を図っていくことにより、学習内容の確かな理解と定着を図ることが必要である。

「社会的な思考・判断・表現」に関する問題(5)ア、イの通過率は、設定通過率とほぼ同程度、もしくは上回っているものの、(5)イの通過率については、2割に到達していない。

細かい歴史的事象を単体で覚えるだけでなく、既習事項の理解を基にして思考を深めたり、複数の資料やグラフから読み取れることを関連付けて考察し、与えられた条件の中で表現したりするなどの課題探究的な学習の充実を図っていくことが必要である。

## ■ 社会学習に関する意識結果

	年度	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
社会の学習をして、わが国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色がわかり、もっと知りたいと思った。	平成17年度	18.0	39.1	30.0	11.4
	平成20年度	17.8	44.9	27.9	9.2
	平成23年度	21.0	46.1	23.6	8.5
	平成26年度	18.8	47.5	25.4	7.7
社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている。	平成17年度	8.9	30.9	42.6	16.1
	平成20年度	10.1	33.7	39.8	16.2
	平成23年度	12.5	36.0	36.9	13.8
	平成26年度	11.5	39.3	37.0	11.5
地域や国土の良さを大切にしたいと思う。	平成17年度	22.6	41.3	26.6	8.1
	平成20年度	27.5	42.9	22.3	7.0
	平成23年度	34.5	40.6	18.3	5.9
	平成26年度	36.4	43.8	14.5	4.6
社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようになっている。	平成17年度	7.9	20.2	42.0	28.4
	平成20年度	9.3	23.2	38.4	28.9
	平成23年度	11.2	27.4	38.0	22.5
	平成26年度	10.1	28.4	39.9	20.9
調べ学習のときなどに、図書館や、インターネットを利用して資料を集め活用している。	平成17年度	33.5	29.4	20.6	14.8
	平成20年度	30.9	27.5	22.6	18.7
	平成23年度	30.4	26.8	25.1	16.9
	平成26年度	22.3	27.8	27.4	21.9
社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくるできごとに興味を持つようになった。	平成17年度	20.2	39.3	27.1	11.8
	平成20年度	20.9	41.1	25.9	11.8
	平成23年度	23.0	38.5	25.6	12.1
	平成26年度	25.8	38.2	24.6	10.7
地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見つけてそれを実行している。	平成17年度	7.0	25.7	44.4	21.2
	平成20年度	9.5	33.2	37.3	19.7
	平成23年度	11.6	35.5	35.7	16.4
	平成26年度	8.4	29.8	41.7	19.5

※児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層（A～D）に分けて傾向を分析（上位からA層、B層、C層、D層の順）した。「学力層別 肯定群回答割合」は、各層において肯定的に回答した児童生徒の割合。ここでは、「A層とD層の差」が大きかった質問を抽出して掲載。

質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
			よく	やや	あまり	まったく	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
1	社会の学習をして、わが国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色がわかり、もっと知りたいと思った。	66.7	18.8	47.5	25.4	7.7	0.7	81.1	70.2	65.5	49.8	31.3
2	社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている。	51.1	11.5	39.3	37.0	11.5	0.7	70.2	57.4	43.8	33.0	37.2

### <全体について>

- 平成23年度に比べて、「社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくるできごとに興味を持つようになった」という社会への興味・関心を問う質問はやや伸びているのに対し、「調べ学習のときなどに、図書館や、インターネットを利用して資料を集め活用している」や「地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見つけてそれを実行している」といった、調べ学習の方法や郷土愛に関わる質問で下がっている。
- 成績上位層（A層）と下位層（D層）との差が大きかった質問は、「社会の学習をして、わが国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色がわかり、もっと知りたいと思った」「社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている」であった。社会の授業で学習した内容に対して、自分で調べる力や意欲があることが、教科学力と関わりが大きいと推察できる。

### <設問別分析>

- 「社会の学習をして、わが国と世界の国々の様子、歴史の流れや各時代の特色がわかり、もっと知りたいと思った」という質問では、肯定的な回答が66.3%であった。まず、生徒の興味・関心を喚起する社会的事象のピックアップと課題の設定に重点を置き、その上で、写真や資料を効果

的に活用したり、意見交流を取り上げたりするなどして、生徒の意欲を持続させる工夫を行っていくことが求められる。

- 「**社会の学習内容でわからないことや疑問を持ったことについて、自分から調べるようにしている**」という質問では、肯定的な回答が 50.8%であった。まず、生徒が疑問をもてるような発問の在り方に重点を置き、その上で、様々な調べ方を教えながら、実際に調べ学習の展開を図っていくことが重要である。
- 「**地域や国土の良さを大切にしたいと思う**」という質問では、肯定的な回答が 80.2%であった。引き続き、様々な地域についての理解を深める指導を行うとともに、学校教育の重点に位置付けられている「ふるさと札幌の学び」について、具現化していくことが重要である。
- 「**社会の学習で新しく地名が出てきたら、地図で確認するようにしている**」という質問では、肯定的な回答が 38.5%であった。まず、地図が身近にある、または地図帳が手元にある環境をつくることが大切であり、授業の中で、地図（地図帳）を活用する頻度を増やしていくことが求められる。
- 「**調べ学習のときなどに、図書館や、インターネットを利用して資料を集め活用している**」という質問では、肯定的な回答が 50.1%であった。まず、図書館や、インターネットの利用の仕方や、情報の活用の仕方について教えることが大切であり、授業の中で、図書館やコンピュータを活用する頻度を増やしていくことが重要である。
- 「**社会の学習をして、ニュースや新聞に出てくるできごとに興味を持つようになった**」という質問では、肯定的な回答が 64.0%であった。様々なニュースについて、社会の学習と関連させながら、効果的に取り上げていくことが大切である。※新聞の見方について教えることも重要である。
- 「**地域や国土の自然を守るために、自分にできることを見つけてそれを実行している**」という質問では、肯定的な回答が 38.2%であった。授業で、身近な環境問題について取り上げるなどして、環境に対する意識を高めるようにするとともに、社会の学習を通して学んだことを、実生活にどのように結び付けていくか、という視点を常に与えていくことが重要である。



(3) 英語

■ 通過率と設定通過率との比較

項目	平成17年度			平成20年度			平成23年度			平成26年度			
	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	札幌市の通過率(平均)	設定通過率(平均)	設定通過率と札幌市の通過率との差	
教科全体	63.6	65.8	-2.2	64.6	65.8	-1.2	69.2	67.0	2.2	61.0	58.9	2.1	
基礎	75.7	77.9	-2.3	78.1	77.9	0.2	73.0	70.7	2.3	69.7	67.4	2.3	
応用	52.2	54.9	-2.7	52.0	54.9	-2.9	54.7	52.8	1.9	37.6	36.4	1.2	
観点	理解する力	70.6	72.5	-1.9	72.6	72.5	0.1	69.9	68.7	1.2	67.8	65.8	2.0
	表現する力	50.2	53.3	-3.1	48.7	53.3	-4.6	58.2	53.2	5.0	26.3	22.5	3.8
	言語や文化の知識・理解	54.9	58.2	-3.3	55.3	58.2	-2.9	69.7	65.9	3.8	66.3	64.9	1.4

【経年比較】

■ 札幌市の通過率と設定通過率との差異

- ・教科全体における設定通過率との差は、平成 23 年度と比べ、ほぼ同程度である。(−0.1 ポイント)
- ・観点別に見ると、「理解する力」は、平成 23 年度と比べ設定通過率を上回る割合がやや大きくなっているが、「表現する力」、「言語や文化の知識・理解」はそれぞれ上回る割合がやや小さくなっている。

■ 設問別通過率

設問番号		設問内容	基礎 応用	出題 形式	札幌 市の通 過率 (平均)	設 定 通 過 率	観 点			領 域			単 元										活用	
大問	小問						理解する力	表現する力	言語や文化の知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	リスニング(応答を補充する)	リスニング(質問に答える)	リスニング(英文選択)	読解問題(下線部の問い)	読解問題(内容正誤)	英答(英問)	読解問題(空所補充)	語彙問題	語形変化問題	語順整序問題		英作文(条件英作文)
1	A	1	基礎	選択式	86.8	83.5	●						◆											
1	A	2	基礎	選択式	88.9	86.6	●						◆											
1	A	3	基礎	選択式	94.3	94.7	●						◆											
1	A	4	基礎	選択式	67.3	65.2	●						◆											
1	B	1	基礎	選択式	46.0	30.7	●							◆										
1	B	2	基礎	選択式	47.4	43.4	●							◆										
1	B	3	基礎	選択式	78.9	77.4	●							◆										
1	C	1	基礎	選択式	83.4	79.1	●							◆										
1	C	2	基礎	選択式	84.5	83.6	●							◆										
1	C	3	基礎	選択式	79.0	74.8	●							◆										
2	1		基礎	短答式	58.7	57.8	●										◆							
2	2		基礎	短答式	30.8	31.0	●										◆							
2	3		基礎	短答式	48.0	33.7	●										◆							
3	1		基礎	選択式	50.7	56.6	●																	
3	2		基礎	選択式	75.0	71.1	●																	
3	3		基礎	選択式	73.4	68.8	●																	
3	4		基礎	選択式	74.9	73.6	●																	
4	1		基礎	選択式	86.0	87.4	●																	
4	2		基礎	選択式	80.5	82.0	●																	
4	3		基礎	選択式	74.3	76.0	●																	
4	4		基礎	選択式	77.0	77.2	●																	
5	1		応用	記述式	23.6	19.6	●																	
5	2		応用	記述式	16.6	12.4	●																	
6	1		基礎	選択式	54.6	48.3	●																	
6	2		基礎	選択式	70.8	69.5	●																	
6	3		基礎	選択式	62.6	66.4	●																	
6	4		応用	記述式	41.3	36.7	●																	
7	1		応用	選択式	59.2	54.9	●							◆										
7	2		応用	選択式	44.2	45.3	●																	
8	1		応用	選択式	52.8	56.8	●																	
8	2		応用	選択式	51.3	58.4	●																	
8	3		応用	記述式	15.9	10.4	●																	
9			応用	記述式	33.9	33.4	●																	◆

□ リスニングに関する設問

「理解する力」についての実現状況を把握するための設問であり、3つの大問、10小問で構成されている。第1問～第3問において、3ポイント以上設定通過率を上回った設問は小問10問中5問、3ポイント以上下回った設問はなかった。

**【大問 1 - A】** 英語を聞いて、その英語の内容に当てはまる絵を選択する設問

(1)～(4) 英語を聞いて、絵の内容に合致する英文を3つの選択肢より選択する問題である。通過率は、(1)では86.8%、(2)では88.9%、(3)では94.3%、(4)では67.3%であり、(1)は設定通過率を3.3ポイント上回ったが、他はほぼ同程度となっている。

**【大問 1 - B】** 会話を聞いて、会話の最後の返答を選ぶ設問

(1)～(3) 会話を聞いて、会話の最後の英文を4つの選択肢より選択する問題である。通過率は、(1)では46.0%、(2)では47.4%、(3)では78.9%であり、(1)～(3)は設定通過率を上回っており、特に(1)は15.3ポイント上回っている。

**【大問 1 - C】** 長い英文に関する質問を聞いて答える設問

(1)～(3) 長い英文を聞き、内容についての英語の質問に対する答えを4つの選択肢から選ぶ問題である。(1)では83.4%、(2)では84.5%、(3)では79.0%であり、(1)と(3)は設定通過率より4ポイント以上上回っているが、(2)はほぼ同程度となっている。

リスニングに関する設問については、全ての設問で設定通過率を上回っていた。リスニングに関する能力は定着しているが、音声教材の効果的な活用などを通じて多くの機会を設定するとともに、授業などでも教師や生徒が積極的に英語を使い、英語の音に触れる量を増やすことは重要であり、音声によるコミュニケーションを重視した指導の充実に努めていくことが必要である。

□ 語彙に関する設問

「言語や文化の知識・理解」についての実現状況を把握するための設問であり、3つの問題で構成されている。

**【大問 2】** (1)～(3) 英文を読んで、その英文の内容に適する単語を書く問題である。(1)では58.7%、(2)では30.8%、(3)では48.0%であり、(1)と(2)は設定通過率とほぼ同程度だったが、(3)は14.3ポイント上回っている。

語彙に関する設問については、設定通過率を大きく上回った設問は3問中1問となった。曜日、季節、日常生活に関する語彙は、英語の授業においても多くの場面で使用されているものであり、活動場面で使用すると同時に、書く活動も積極的に取り入れて定着を図ることが必要である。

□ 語形変化に関する設問

「言語や文化の知識・理解」についての実現状況を把握するための設問であり、4つの問題で構成されている。設定通過率を上回った設問は、4問中3問であり、設定通過率を5ポイント以上上回った設問が1問あった。

**【大問 3】** 英文が正しくなるよう語形を変化させる設問であり、4つの選択肢より選択する問題である。

(1)「listen を listens に変化させる問題」の通過率は50.7%であり、設定通過率を5.9ポイント下回っている。

(2)「I を mine に変化させる問題」の通過率は75.0%であり、設定通過率を3.9ポイント上回っている。

(3)「come を came に変化させる問題」の通過率は73.4%で、設定通過率を4.6ポイント上回っている。

(4)「swim を swimming に変化させる問題」の通過率は74.9%で、設定通過率とほぼ

同程度となっている。

語形変化に関する設問については、設定通過率を下回ったものが1問あった。人称を意識しながら動詞の時制の変化させるためには、「覚える」だけではなく、日常対話で「使用できる」レベルまでに対応できるように、多くの演習機会を設定することが必要である。

#### □ 語順整序に関する設問

「言語や文化の知識・理解」「書く力」についての実現状況を把握するための設問であり、4つの問題で構成されている。

【大問4】与えられた日本語の意味に合うよう英文中の4語を並べかえる設問である。小問4問中全ての設問において設定通過率とほぼ同程度になった。

- (1)「過去の出来事を質問する英文になるように、英文中の4語を並べ替える問題」の通過率は86.0%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (2)「未来の予定を述べる英文になるように、英文中の4語を並べ替える問題」の通過率は80.5%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (3)「過去の動作の目的や理由を述べる英文になるように、英文中の4語を並べ替える問題」の通過率は74.3%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (4)「必要性のないことを述べる英文になるように、英文中の4語を並べ替える問題」の通過率は77.0%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

語順整序に関する問題では、設定通過率とほぼ同程度となっている。学んだ文法事項・語彙を活用し、自分自身の考えや身近な出来事などについて、与えられた場面に即した英語で表現ができるよう指導の一層の充実を図ることが必要である。

#### □ 英作文に関する設問

「表現する力」についての実現状況を把握するための設問であり、2つの問題で構成されている。小問2問中全ての設問において設定通過率よりも4ポイント以上上回った。

【大問5】自分自身のことについて、英語の質問に1文で答える設問である。

- (1)問題では、通過率は23.6%であり、設定通過率を4.0ポイント上回っている。
- (2)問題では、通過率は16.6%であり、設定通過率を4.2ポイント上回っている。

英語での表現に関する設問については、全てにおいて設定通過率よりも4ポイント以上上回っている。書く活動においては、日頃より生徒の身近な題材や興味のあるトピックを選定し、自分自身のことなどを書く活動を多く取り入れたい。その時には、書くためのヒントとなるよう、必要な単語や熟語、定型文などを与えるなど、丁寧な指導方法の工夫改善を図ることが必要である。

#### □ 長文読解に関する設問

「理解する力」についての実現状況を把握するための設問であり、3つの大問、9小問で設定されている。第6問から第8問において、3ポイント以上設定通過率を上回った設問は9の小問中4問、3ポイント以上下回った設問は2問あった。

【大問6】会話文を通じて英文の理解を図る設問

- (1)「会話文中の空欄に当てはまる適文を選択する問題」の通過率は54.6%で、設定通過率を6.3ポイント上回っている。

- (2) 「会話文中の空欄に当てはまる適文を選択する問題」の通過率は70.8%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。
- (3) 「会話文中の空欄に当てはまる適文を選択する問題」の通過率は62.6%で、設定通過率を3.8ポイント下回っている。
- (4) 「本文の内容に合うように質問文に答える問題」の通過率は41.3%で、設定通過率を4.6ポイント上回っている。

**【大問7】**長文を通じて英文の理解を図る設問

- (1) 「下線部の表す内容を選択する問題」の通過率は59.2%で、設定通過率を4.3ポイント上回っている。
- (2) 「本文の内容と一致するものを選択する問題」の通過率は44.2%で、設定通過率とほぼ同程度となっている。

**【大問8】**長文を通じて英文の理解を図る設問

- (1) 「英文を適切な空所に挿入する問題」の通過率は52.8%で、設定通過率を4.0ポイント下回っている。
- (2) 「本文の内容と一致するものを選択する問題」の通過率は51.3%で、設定通過率を7.1ポイント下回っている。
- (3) 「本文の内容についての英問英答の問題」の通過率は15.9%で、設定通過率を5.5ポイント下回っている。

長文読解に関する設問については、設定通過率とほぼ同程度あるいは上回っているものは、9問中6問となった。英文を読み取り、理解する力については、ある程度定着していることが読み取れる。まとまりのある英文を読む活動において、内容の大まかな流れを読み取れるように、教師が読み取りの手がかりとなるキーワードを示したり、5W1Hに着目させたりして、大切な情報を把握させ、前後のつながりを意識しながら読んでいくことを指導していくことが必要である。

□ 活用に関する設問

「表現する力」についての実現状況を把握するための設問であり、1問で構成されている。設定通過率とほぼ同程度だった。

**【大問9】**相手の問題解決をコミュニケーション上で図る問題

資料を読みとり、その情報をもとに対話文中の空欄に当てはまる英文を記述する問題であり、通過率は33.9%であり、設定通過率とほぼ同程度となっている。

英語での表現に関する設問については、設定通過率とほぼ同程度となっている。表現する活動においては、日頃から読んだり、聞いたりしたことを話したり、書いたりする4技能を統合した授業を意識的に行うことが求められる。また、基礎的な演習と、自分自身の考えを表現したり、相手からの問いかけに対応することなどについて、実際に英語を使って数多く演習し、習熟を高めることが必要である。

■英語学習に関する意識結果

	年度	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
英語で話しかけられたときに、相手の言うことを聞き取ろうとしている。	平成17年度	20.3	38.5	29.4	11.2
	平成20年度	18.9	38.2	30.5	12.1
	平成23年度	17.1	41.0	31.9	9.8
	平成26年度	44.6	40.5	10.0	4.5
間違いをおそれずに、英語で話そうとしている	平成17年度	14.9	33.9	36.3	14.2
	平成20年度	19.0	33.2	31.9	15.7
	平成23年度	19.6	35.0	33.8	11.2
	平成26年度	14.3	42.8	34.6	7.9
身近な看板などに書いてある英単語や英文を読んでみようと思う。	平成17年度	19.8	26.9	30.3	22.4
	平成20年度	20.0	25.0	30.0	24.7
	平成23年度	20.9	27.9	30.6	20.3
	平成26年度	43.6	34.4	14.3	7.3
英作文をするときには、間違いをおそれずに書こうとしている。	平成17年度	18.6	35.4	32.1	13.2
	平成20年度	21.5	36.3	27.9	14.0
	平成23年度	24.8	36.8	28.0	10.2
	平成26年度	20.1	42.6	28.7	8.1
英語の文章は、音読をするようにしている。	平成17年度	19.9	36.7	29.6	13.2
	平成20年度	24.7	37.0	25.8	12.3
	平成23年度	26.5	37.7	26.9	8.6
	平成26年度	22.0	38.2	29.2	10.1
英文の意味をくわしく正確に理解する学習のとき、知らないことばが出てきたら、自分で調べるようにしている。	平成17年度	29.1	35.4	24.6	10.3
	平成20年度	31.0	37.9	19.6	11.2
	平成23年度	34.1	37.3	19.7	8.8
	平成26年度	33.9	38.7	18.3	8.6
文章全体のおおよその内容を理解する学習のとき、理解できない単語があっても、あきらめずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている。	平成17年度	24.5	38.7	26.4	9.8
	平成20年度	24.8	42.3	21.4	11.2
	平成23年度	28.4	41.0	23.0	6.6
	平成26年度	26.9	40.4	22.9	9.1

※児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層（A～D）に分けて傾向を分析（上位からA層、B層、C層、D層の順）した。「学力層別 肯定群回答割合」は、各層において肯定的に回答した児童生徒の割合。ここでは、「A層とD層の差」が大きかった質問を抽出して掲載。

質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	選択別回答割合(%)					学力層別 肯定群回答割合(%)				
			よく	やや	あまり	まったく	その他無回答	A層	B層	C層	D層	A-D層の差
2	間違いをおそれずに、英語で話そうとしている。	57.4	14.3	42.8	34.6	7.9	0.5	79.3	62.0	50.2	37.5	41.8
7	文章全体のおおよその内容を理解する学習のとき、理解できない単語があっても、あきらめずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている。	67.7	26.9	40.4	22.9	9.1	0.8	86.8	77.4	66.3	39.8	47.0

＜全体について＞

- 平成23年度に比べて、「英語で話しかけられたときに、相手の言うことを聞き取ろうとしている。」「身近な看板などに書いてある英単語や英文を読んでみようと思う。」という英語を「聞くこと」、「読むこと」について興味を持つ傾向が大変強まっていることがうかがえる。
- 「英語の文章は音読をするようにしている。」「英文の意味をくわしく正確に理解する学習のとき、知らないことばが出てきたら、自分で調べるようにしている。」「文章全体のおおよその内容を理解する学習のとき、理解できない単語があっても、あきらめずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている。」という個人で取り組む英語への学習姿勢は、平成23年度と同程度、もしくはやや下回っている。

＜設問別分析＞

- 「英語で話しかけられたときに、相手の言うことを聞き取ろうとしている。」「間違いを恐れずに英語で話そうとしている」「身近な看板などに書いてある英単語や英文を読んでみようと思う。」という質問では、それぞれ85.1%、57.1%、78.0%となっており、半数以上の生徒が肯定的な意

識をもっていることがうかがえる。特に「英語で話しかけられたときに、相手の言うことを聞き取ろうとしている。」「身近な看板などに書いてある英単語や英文を読んでみようと思う。」という質問では、平成23年度に比べてそれぞれ27.0ポイント増、29.2ポイント増となっており、小学校外国語活動の全面実施、ALTの積極的な活用などを通して、英語を理解しようとする生徒の割合が大幅に増加している。今後も英語によるコミュニケーションの大切さや楽しさを実感させるとともに、既習の内容を活用させる指導の一層の充実が必要である。

- 「英作文をするときには、間違いをおそれずに書こうとしている」という質問では、肯定的に回答した割合が62.7%となっており、平成23年度とほぼ同程度である。聞いたり、読んだり、話したりしたことについてその内容を要約して書くなど、4技能を統合したコミュニケーション活動を通して、既習事項を確実に定着させる指導の充実が一層求められる。
- 「英語の文章は、音読をするようにしている」という質問では、肯定的に回答した割合が60.2%となっており、平成23年度比で4.0ポイント減少している。教科書の本文など単に音読させるのではなく、物語や対話文では、場面の設定やその背景などを考え、登場人物の心情を理解しながらそれにふさわしい読み方を指導したり、説明文では、伝えたい内容は何かを考え、音読するスピードや単語の強弱を考えた読み方を指導するなどのより一層工夫した指導が求められる。
- 「英文の意味をくわしく正確に理解する学習のとき、知らないことばが出てきたら、自分で調べるようにしている」という質問では、肯定的に回答した割合が72.6%となっており、未習の言語事項に対する興味・関心が高いことがうかがえる。適宜辞書の活用を図り、未習の単語について調べることを習慣化し、その単語を含んだ例文に数多く触れることも重要である。
- 「文章全体のおおその内容を理解する学習のとき、理解できない単語があっても、あきらめずに自分で意味を考えながら聞いたり読んだりするようにしている」という設問では、肯定的に回答した割合が67.3%となっている。英語を聞いたり読んだりする際に、分からない単語があっても、内容を理解しようとしていることがうかがえる。聞き取りや読み取りのポイントとなるキーワードやセンテンスを手がかりとして概要を推測させながら、内容や情報を理解させる指導の一層の充実を図ることが求められる。

#### (4) 学習についてのアンケート (中2)

##### ①質問別 肯定的回答割合 (%)

肯定的回答割合は、選択肢1と2を選択した児童の割合を表示しています。  
質問中、A-D層差の大きい順に上位10問をピックアップしています。

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					層 A I の差 D	質問の順位	差の大きさ
				A層	B層	C層	D層				
31	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習定着のための方	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	54.9	76.7	59.6	49.4	33.8	42.9	1		
37	学びの基礎力 学びを律する力 学習継続力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	54.8	77.0	57.7	50.2	34.2	42.8	2		
43	社会的実践力 問題解決力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	54.7	74.8	60.0	48.5	35.3	39.5	3		
101	学習方略 英語	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英文を書いたことがある。	57.7	74.4	66.0	53.4	37.1	37.3	4		
102	学習方略 英語	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話を作ってコミュニケーションしている。	45.2	62.4	50.2	42.1	26.1	36.3	5		
90	学習方略 数学	数学(算数)の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	35.7	52.3	40.7	30.9	18.8	33.5	6		
91	学習方略 数学	数学(算数)の宿題で、文章題を作ったことがある。	38.4	55.3	44.2	31.7	22.6	32.7	7		
44	社会的実践力 問題解決力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	55.6	70.3	59.6	53.6	38.7	31.6	8		
27	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	59.9	76.6	60.4	57.4	45.5	31.1	9		
28	学びの基礎力 自ら学ぶ力 学習スキル	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	52.9	66.5	58.1	50.6	36.2	30.3	10		

##### ②カテゴリーごとの平均スコア

各質問の回答を「とても：3、まあ：2、あまり：1、まったく：0」として数値化し、ある質問に全員が「とても」と回答した場合に平均スコアが100、全員が「まったく」と回答した場合に平均スコアが0になるように集計の上、カテゴリーごとに平均スコアを出しています。

カテゴリー	札幌市	札幌市学力層別					の D A 差 層 I
		A層	B層	C層	D層		
学びの基礎力	59.6	66.1	60.5	58.7	53.2	12.9	
社会的実践力	58.7	66.1	60.1	57.3	51.0	15.1	
学級力	57.3	59.1	55.1	58.1	57.1	2.0	
家庭学習力	58.4	65.8	59.3	57.3	51.0	14.8	

※本調査では、以下のような意味で質問項目を分類している。

- ・「学びの基礎力」…豊かな基礎体験、学びに向かう力など
- ・「社会的実践力」…問題解決力、自己成長力など
- ・「学級力」……………対話力、支え合う力など
- ・「家庭学習力」……家庭学習の環境や習慣について

##### ○教科学力との相関の高い質問項目について

- ・学習意識と教科学力との相関を見ると、「授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。」「わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。」「調べて分かったことをもとに、考えをまとめることができる。」の質問に肯定的に回答していることと、教科学力に高い相関が見られた。
- ・また、カテゴリー別に見ると、「社会的実践力」、「家庭学習力」において、高い相関が見られた。問題や課題を発見し、主体的に解決していく態度などの「社会的実践力」を育む指導方法等の工夫改善が求められると共に、家庭学習の習慣を定着させる指導の工夫が求められる。

③学習についてのアンケート結果一覧（中2）

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別						質問の大きい順位
				A層	B層	C層	D層	Aの差D層		
1	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	友だちと外で遊んでいる。	66.8	54.9	66.4	70.9	74.8	-19.9	105	
2	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをしている。	83.1	72.9	86.0	84.9	88.3	-15.4	104	
3	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	本や新聞を読んでいる。	71.0	80.1	74.0	66.8	63.2	16.9	43	
4	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	パソコンやインターネットを使う。	84.2	89.4	86.0	81.9	79.3	10.1	68	
5	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	放課後や土曜日などに、学校の活動や集まりがあれば、参加している。	67.5	74.8	71.7	68.2	55.3	19.5	34	
6	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ゲーム機やケータイ、スマートフォンでゲームをするときは、家の人と時間についてルールを決めている。(ゲームをしない人は、1番を選んでください。)	43.8	52.6	46.8	43.6	32.3	20.3	33	
7	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	ケータイやスマートフォンで電話やメールをするときは、家の人と時間を決めている。(ケータイやスマートフォンで電話やメールをしない人は、1番を選んでください。)	47.0	57.5	52.1	43.4	35.0	22.5	24	
8	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	86.8	92.1	87.2	88.2	79.9	12.2	63	
9	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	今まで教えてもらった学校の先生は、自分のことを認めてくれていたと思う。	68.5	80.1	69.7	69.1	55.5	24.6	19	
10	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	勉強やスポーツのことで、家の人が応援してくれる。	83.7	92.1	87.9	84.1	71.1	21.0	29	
11	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	将来の夢やこれからの進路について家の人と話をする。	73.5	80.0	74.3	77.7	62.0	18.0	36	
12	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基礎体験	新聞に書かれていることについて家の人と話をする。	32.5	44.4	30.2	28.7	26.7	17.7	37	
13	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝食は毎日食べている。	88.6	95.5	92.1	88.2	78.5	17.0	42	
14	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	朝、起こされなくても自分で起きています。	62.7	58.1	63.0	66.0	63.2	-5.1	100	
15	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	夜は決まった時間におねている。	36.6	46.6	31.4	38.9	29.2	17.4	40	
16	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。	49.1	54.1	47.3	44.5	50.2	3.9	84	
17	学びの基礎力 豊かな基礎体験 基本的生活習慣	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。	72.7	78.9	72.0	71.7	68.3	10.6	66	
18	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。	72.6	80.5	75.8	70.9	62.9	17.6	39	
19	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することがある。	68.7	72.9	73.6	67.9	60.4	12.5	60	
20	学びの基礎力 学びに向かう力 感じ取る力	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。	70.0	82.0	72.5	71.3	54.0	28.0	15	
21	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。	71.4	79.2	70.9	69.1	66.9	12.3	62	
22	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。	81.6	87.6	81.9	81.9	74.8	12.8	56	
23	学びの基礎力 学びに向かう力 学習動機	学校に行くのが楽しい。	74.8	82.3	76.2	74.0	66.9	15.4	47	
24	学びの基礎力 学びに向かう力 自己責任	同じ間違いをしないように気をつけている。	82.0	90.2	83.4	81.1	73.3	16.9	43	
25	学びの基礎力 学びに向かう力 自己有能感	努力をすれば、自分もたいていのことはできると思う。	75.1	78.9	73.6	75.1	72.6	6.3	80	



質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					A の 差 D 層	質 差 問 の 大 順 き 位 い
				A 層	B 層	C 層	D 層	A の 差 D 層		
26	学びの基礎力	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	88.1	91.3	89.8	87.9	83.1	8.2	75	
	学びに向かう力 達成感									
27	学びの基礎力	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。	59.9	76.6	60.4	57.4	45.5	31.1	9	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
28	学びの基礎力	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。	52.9	66.5	58.1	50.6	36.2	30.3	10	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
29	学びの基礎力	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	31.9	37.6	34.0	29.8	26.3	11.3	64	
	自ら学ぶ力 学習スキル									
30	学びの基礎力	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	36.1	52.1	40.8	27.7	23.7	28.4	13	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
31	学びの基礎力	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	54.9	76.7	59.6	49.4	33.8	42.9	1	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
32	学びの基礎力	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	40.1	53.0	39.0	39.2	29.1	23.9	21	
	自ら学ぶ力 学習定着のための方略									
33	学びの基礎力	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	73.1	81.6	76.6	69.1	65.0	16.6	45	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
34	学びの基礎力	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	26.2	34.2	26.0	22.6	21.5	12.7	59	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
35	学びの基礎力	自分で学習の計画を立てている。	39.8	49.1	42.8	36.6	30.8	18.3	35	
	自ら学ぶ力 学習計画力									
36	学びの基礎力	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	34.0	48.9	34.0	28.7	24.4	24.5	20	
	学びを律する力 学習継続力									
37	学びの基礎力	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	54.8	77.0	57.7	50.2	34.2	42.8	2	
	学びを律する力 学習継続力									
38	学びの基礎力	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	43.6	51.5	40.8	43.2	38.3	13.2	53	
	学びを律する力 学習のけじめ									
39	学びの基礎力	かん違いや思いがけないか、しっかり見直しをしている。	50.9	65.8	48.7	47.0	42.3	23.5	22	
	学びを律する力 学習のけじめ									
40	学びの基礎力	正しい姿勢で学習している。	47.9	50.0	48.3	51.7	42.1	7.9	77	
	学びを律する力 学習環境の整備									
41	学びの基礎力	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	83.6	86.1	85.3	86.4	76.7	9.4	70	
	学びを律する力 学習環境の整備									
42	学びの基礎力	授業を集中して受けている。	76.9	86.5	78.1	77.0	65.8	20.7	30	
	学びを律する力 授業を受ける姿勢									
43	社会的実践力	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	54.7	74.8	60.0	48.5	35.3	39.5	3	
	問題解決力									
44	社会的実践力	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	55.6	70.3	59.6	53.6	38.7	31.6	8	
	問題解決力									
45	社会的実践力	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	39.4	51.1	41.9	35.5	29.3	21.8	25	
	問題解決力									
46	社会的実践力	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	45.0	58.6	49.1	41.9	30.5	28.1	14	
	問題解決力									
47	社会的実践力	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	61.7	64.3	65.7	61.1	55.6	8.7	72	
	社会参画力									
48	社会的実践力	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	54.7	59.8	57.7	54.5	46.6	13.2	53	
	社会参画力									
49	社会的実践力	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	80.5	89.1	83.4	81.1	68.0	21.1	27	
	豊かな心									
50	社会的実践力	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	58.6	70.7	57.4	53.2	53.0	17.7	37	
	豊かな心									

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別						質問の 差の 大きい 順位
				A層	B層	C層	D層	A I D 層 の 差		
51	社会的実践力 豊かな心	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	54.1	60.9	53.6	54.7	47.4	13.5	50	
52	社会的実践力 豊かな心	自分と違う意見も尊重している。	74.6	85.7	76.6	77.7	58.3	27.4	16	
53	社会的実践力 自己成長力	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	62.3	69.2	63.4	61.5	54.9	14.3	48	
54	社会的実践力 自己成長力	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	90.0	95.1	92.8	89.8	82.3	12.8	56	
105	学級力 やりとげる力	みんなで決めた学級目標に力を合わせて取り組んでいる学級です。	64.3	63.0	60.8	67.5	66.2	-3.2	96	
106	学級力 やりとげる力	係や当番の活動に責任を持って取り組む学級です。	71.7	68.8	70.6	75.1	72.6	-3.8	97	
107	学級力 やりとげる力	自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動をしている学級です。	52.4	50.6	45.7	55.3	58.3	-7.7	102	
108	学級力 やりとげる力	生徒会で決めた活動や学校行事に、団結して取り組んでいる学級です。	76.0	82.3	77.7	76.1	68.0	14.3	48	
109	学級力 自律力	学年や学校のためになる活動を提案して、進んで取り組んでいる学級です。	48.7	43.8	45.3	51.7	54.1	-10.3	103	
110	学級力 自律力	楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる学級です。	48.4	48.1	41.5	49.1	54.9	-6.8	101	
111	学級力 自律力	集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守る学級です。	60.3	61.3	57.0	64.9	58.3	3.0	89	
112	学級力 自律力	学級会では、司会や記録を自分たちで担当して話し合いを進める学級です。	79.3	84.9	80.8	79.6	72.1	12.8	56	
113	学級力 対話力	発言している人の話を最後までしっかり聞いている学級です。	62.1	64.5	55.5	66.3	62.3	2.2	91	
114	学級力 対話力	友だちの話しに賛成・反対・つけたしと、つなげるように発言している学級です。	53.6	55.5	47.5	58.5	52.8	2.7	90	
115	学級力 対話力	話し合いのとき、考えや意見を進んで出し合う学級です。	55.7	54.7	52.7	60.8	54.7	0.0	93	
116	学級力 対話力	異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめることができる学級です。	59.8	57.0	55.5	66.4	60.8	-3.8	97	
117	学級力 支え合う力	家庭学習や考査前学習などで、教え合いをしている学級です。	41.7	47.7	34.7	40.0	44.5	3.2	88	
118	学級力 支え合う力	小さなけんかや、トラブルは、話し合いで解決できる学級です。	62.7	66.2	61.1	63.4	60.0	6.2	81	
119	学級力 支え合う力	「ありがとう」を伝え合っている学級です。	73.3	75.5	74.0	72.1	71.7	3.8	86	
120	学級力 支え合う力	授業中、グループ学習やグループ活動でよく協力している学級です。	70.5	75.8	68.7	71.3	66.4	9.4	70	
121	学級力 共生力	友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にする学級です。	49.8	50.2	45.3	48.7	55.1	-4.9	99	
122	学級力 共生力	友だちの間に上下関係がなく、誰とでも平等に接している学級です。	64.6	65.8	61.5	65.3	66.0	-0.2	95	
123	学級力 共生力	友だちのよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級です。	66.6	69.4	63.0	67.9	66.0	3.4	87	
124	学級力 共生力	男女の仲がよく、共に学んだり活動したりしている学級です。	74.3	78.9	73.1	76.2	68.9	10.0	69	
125	学級力 規律力	授業中にむだなおしゃべりをしない学級です。	24.0	25.6	21.5	24.5	24.5	1.1	92	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					A の 差 I D 層	差 問 の 大 き い
				A 層	B 層	C 層	D 層			
126	学級力 規律力	あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている学級です。	64.4	66.5	62.6	65.7	62.6	3.9	84	
127	学級力 規律力	ろうかや教室を整理整頓している学級です。	66.6	71.4	62.5	67.9	64.5	6.9	78	
128	学級力 規律力	校外でも人の迷惑にならないように考えて行動できる学級です。	66.9	67.5	64.2	67.9	67.5	0.0	93	
129	家庭学習力	家で学習していて、わからないときは教えてくれる人がいる。	63.0	66.5	60.2	64.2	60.8	5.7	83	
130	家庭学習力	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	67.0	82.0	73.1	59.8	53.2	28.8	12	
131	家庭学習力	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	81.2	93.6	88.3	79.6	63.4	30.2	11	
132	家庭学習力	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	68.7	74.8	70.1	68.7	61.5	13.3	52	
133	家庭学習力	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	61.8	69.5	62.5	61.5	53.8	15.7	46	
134	家庭学習力	テレビやラジオをつけないで集中して学習している。	53.3	62.4	53.0	51.9	45.3	17.1	41	
135	家庭学習力	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	21.3	27.4	18.6	20.4	18.9	8.5	74	
85	学習方略 国語	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	39.4	50.8	40.0	39.2	27.8	23.0	23	
86	学習方略 国語	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	58.4	70.7	58.9	60.0	44.2	26.5	17	
87	学習方略 国語	国語の授業で、物語を作ったことがある。	46.1	51.5	48.3	45.3	39.1	12.4	61	
88	学習方略 国語	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	47.4	50.4	47.5	52.5	39.1	11.3	64	
89	学習方略 数学	数学(算数)の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	27.6	36.1	24.6	26.5	23.0	13.1	55	
90	学習方略 数学	数学(算数)の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	35.7	52.3	40.7	30.9	18.8	33.5	6	
91	学習方略 数学	数学(算数)の宿題で、文章題を作ったことがある。	38.4	55.3	44.2	31.7	22.6	32.7	7	
92	学習方略 数学	数学(算数)の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	34.4	47.7	32.5	31.3	25.9	21.8	25	
101	学習方略 英語	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	57.7	74.4	66.0	53.4	37.1	37.3	4	
102	学習方略 英語	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話文を作ってコミュニケーションしている。	45.2	62.4	50.2	42.1	26.1	36.3	5	
103	学習方略 英語	英語の授業で、テレビや電子黒板などを使って、映像やアニメーションを見ながら会話練習をしている。	24.0	28.6	26.0	18.8	22.7	5.9	82	
104	学習方略 英語	英語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	38.8	48.9	41.9	36.5	28.4	20.5	32	
93	学習方略 社会	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	54.6	56.4	58.3	54.0	49.8	6.6	79	
94	学習方略 社会	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	33.9	36.8	33.8	36.1	28.6	8.2	75	
95	学習方略 社会	社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	40.0	49.6	44.2	37.2	28.9	20.7	30	

質問番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌市	札幌市学力層別					A の 差 I D 層	差 の 大 き い 層 位
				A 層	B 層	C 層	D 層			
96	学習方略 社会	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	28.0	31.2	29.3	28.6	22.5	8.7	72	
97	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。	71.4	79.7	74.6	72.5	58.6	21.1	27	
98	学習方略 理科	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	64.7	68.8	66.4	64.9	58.5	10.3	67	
99	学習方略 理科	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	57.0	72.2	52.5	56.6	46.6	25.6	18	
100	学習方略 理科	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	53.8	59.4	52.5	57.4	45.9	13.5	50	
55	教科について 教科の好き嫌い	国語	63.0	65.0	61.9	67.4	57.8	7.2		
56	教科について 教科の好き嫌い	社会	64.6	77.8	71.4	61.1	47.7	30.1		
57	教科について 教科の好き嫌い	数学(算数)	53.5	64.3	55.8	56.2	38.1	26.2		
58	教科について 教科の好き嫌い	理科	59.9	68.4	55.3	62.1	53.6	14.8		
59	教科について 教科の好き嫌い	音楽	66.3	68.3	64.5	69.4	62.9	5.4		
60	教科について 教科の好き嫌い	図画工作・美術	65.7	65.4	69.1	68.2	60.3	5.1		
61	教科について 教科の好き嫌い	保健体育	74.2	69.2	74.0	74.3	79.3	-10.1		
62	教科について 教科の好き嫌い	技術	64.2	69.9	61.1	67.9	57.9	12.0		
63	教科について 教科の好き嫌い	家庭	67.1	71.4	63.0	71.3	62.8	8.6		
64	教科について 教科の好き嫌い	英語	57.0	82.7	67.5	50.4	27.3	55.4		
65	教科について 教科の好き嫌い	総合的な学習の時間・生活	61.9	62.8	58.1	66.4	60.0	2.8		
66	教科について 教科の好き嫌い	道徳	55.7	51.5	53.2	61.5	56.8	-5.3		
67	教科について 教科の好き嫌い	学級活動	71.6	77.4	67.5	73.6	67.5	9.9		
68	教科について 教科の理解度	国語	69.1	81.2	74.3	67.2	54.0	27.2		
69	教科について 教科の理解度	社会	63.8	88.3	68.0	56.0	43.0	45.3		
70	教科について 教科の理解度	数学(算数)	58.9	80.8	66.4	55.8	32.7	48.1		
71	教科について 教科の理解度	理科	58.5	74.1	57.4	57.0	45.1	29.0		
72	教科について 教科の理解度	音楽	68.4	75.2	70.9	69.4	58.6	16.6		
73	教科について 教科の理解度	図画工作・美術	69.9	70.3	70.8	72.1	66.5	3.8		
74	教科について 教科の理解度	保健体育	75.5	75.6	79.2	74.7	72.2	3.4		

質問 番号	カテゴリー 上段:視点 中段:要素 下段:小要素	質問内容	札幌 市	札幌市学力層別					A   D の 差	差の 大きい 順位
				A 層	B 層	C 層	D 層			
75	教科について	技術	59.7	69.2	58.9	58.5	52.3	16.9		
	教科の理解度									
76	教科について	家庭	67.2	75.6	68.3	69.4	55.6	20.0		
	教科の理解度									
77	教科について	英語	57.3	93.2	71.7	43.6	20.6	72.6		
	教科の理解度									

質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
				ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長く勉強する		
81	要素	学習時間	札幌市	13.6	11.2	17.7	17.2	20.2	10.6	9.5	0.0	
	小要素	平日										
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)			A層	7.5	6.8	18.8	19.5	25.2	13.2	9.0	0.0
				B層	9.8	12.5	15.8	17.7	19.6	10.9	13.6	0.0
				C層	12.8	13.2	17.4	17.7	22.3	9.8	6.8	0.0
D層			24.1	12.4	18.4	13.9	13.9	8.6	8.6	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
82	要素	学習時間	札幌市	19.8	12.7	16.0	14.3	17.9	8.3	11.1	0.0	
	小要素	休日										
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)			A層	13.5	7.9	15.0	16.5	19.9	8.6	18.4	0.0
				B層	16.2	10.9	17.0	13.6	18.5	9.8	14.0	0.0
				C層	21.9	14.0	14.7	15.5	18.9	8.7	6.4	0.0
D層			27.4	18.0	17.3	11.7	13.9	6.0	5.6	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
78	要素	読書冊数	札幌市	13.0	44.7	18.5	8.8	5.1	1.9	8.0	0.0	
	小要素											
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)			A層	8.6	41.7	21.4	11.3	5.3	1.9	9.8	0.0
				B層	10.2	50.6	14.7	8.3	6.4	2.6	7.2	0.0
				C層	13.2	48.7	19.6	6.8	4.9	1.5	5.3	0.0
D層			19.5	38.3	18.4	9.0	3.8	1.5	9.4	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
79	要素	テレビを見る時間	札幌市	9.0	8.5	17.3	14.6	19.9	9.6	21.1	0.1	
	小要素	平日										
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。			A層	10.9	13.9	17.3	18.4	19.2	7.1	13.2	0.0
				B層	14.0	7.9	19.2	14.7	15.8	12.1	16.2	0.0
				C層	6.4	4.2	18.5	14.3	24.2	9.8	22.3	0.4
D層			4.9	7.9	14.3	10.5	20.7	9.4	32.3	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
80	要素	テレビを見る時間	札幌市	6.9	3.8	9.9	8.3	19.9	12.5	38.7	0.1	
	小要素	休日										
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。			A層	7.5	3.0	10.9	9.8	21.8	11.7	35.3	0.0
				B層	7.2	5.7	12.5	8.3	15.8	14.7	35.8	0.0
				C層	5.7	3.0	5.7	7.5	24.5	14.0	39.2	0.4
D層			7.1	3.4	10.2	7.5	17.7	9.8	44.4	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
83	要素	ゲームをする時間	札幌市	29.8	12.3	16.5	11.0	11.3	4.4	14.7	0.0	
	小要素	平日										
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。			A層	38.0	18.0	16.9	11.7	5.6	3.8	6.0	0.0
				B層	31.3	10.9	20.4	11.3	11.3	3.0	11.7	0.0
				C層	30.2	8.3	15.1	10.9	15.5	3.0	17.0	0.0
D層			19.9	12.0	13.9	10.2	12.4	7.5	24.1	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
84	要素	ゲームをする時間	札幌市	24.7	9.2	11.7	7.7	14.5	6.7	25.4	0.1	
	小要素	休日										
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。			A層	30.8	12.8	12.0	4.9	20.3	4.1	14.7	0.4
				B層	26.0	10.2	13.2	7.9	12.5	6.8	23.4	0.0
				C層	23.0	6.8	13.2	10.2	12.5	7.5	26.8	0.0
D層			19.2	7.1	8.6	7.9	12.4	8.3	36.5	0.0		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
137	要素	進路意識	札幌市	16.4	23.9	8.0	35.9	10.5	4.9		0.4	
	小要素											
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1～6から一つ選びなさい。			A層	1.5	11.7	7.5	58.6	18.4	2.3		0.0
				B層	9.1	21.5	7.9	46.4	12.1	2.6		0.4
				C層	17.4	30.9	10.2	26.0	8.3	6.8		0.4
D層			37.6	31.6	6.4	12.8	3.4	7.5		0.8		
質問番号	質問内容		母集団	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答	
136	要素	部活動	札幌市	52.5	18.8	10.3	18.0				0.3	
	小要素											
	あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1～4から一つ選びなさい。			A層	62.0	14.7	4.9	18.4				0.0
				B層	54.3	21.1	9.1	14.7				0.8
				C層	54.3	17.0	9.8	18.9				0.0
D層			39.8	22.6	17.7	19.5				0.4		

④札幌市全体の共通指標に基づく質問

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答				その他 無回答
					当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまらない	当てはまらない	
138	要素	追加質問	全体	46	11.6	34.3	39.9	13.9	0.3
	小要素		A層	56.4	14.3	42.1	34.2	9.4	0
			B層	45.8	10.9	34.7	38.5	15.5	0.4
			C層	46.4	12.5	34	41.9	11.7	0
			D層	35.2	8.6	26.3	45.1	19.2	0.8
			A-D層	21.2					
139	要素	追加質問	全体	54.4	16.5	37.8	34.9	10.6	0.2
	小要素		A層	76.3	28.2	48.1	22.2	1.5	0
			B層	56.1	18.5	37.4	32.8	10.9	0.4
			C層	48.3	12.8	35.5	39.6	12.1	0
			D層	37	6.8	30.1	44.7	18	0.4
			A-D層	39.3					
140	要素	追加質問	全体	61.6	27.6	33.8	25.5	12.9	0.2
	小要素		A層	75.2	42.5	32.7	20.7	4.1	0
			B層	63.3	26.4	36.6	24.9	11.7	0.4
			C層	60.4	23.8	36.6	24.9	14.7	0
			D層	47.2	17.7	29.3	31.6	21.1	0.4
			A-D層	28					
141	要素	追加質問	全体	59	18.4	40.4	30	10.9	0.3
	小要素		A層	76.2	27.1	48.9	18.8	4.9	0.4
			B層	59.1	18.5	40.4	32.1	8.7	0.4
			C層	61.1	16.6	44.5	31.3	7.5	0
			D層	39.6	11.7	27.8	38	22.2	0.4
			A-D層	36.6					
142	要素	追加質問	全体	58.7	23.9	34.7	28.1	13.1	0.3
	小要素		A層	72.2	34.2	38	21.8	6	0
			B層	58.3	22.3	35.8	29.1	12.5	0.4
			C層	58.5	23	35.5	28.3	13.2	0
			D層	45.8	15.8	29.7	33.1	20.7	0.8
			A-D層	26.4					
143	要素	追加質問	全体	71.9	26.7	44.9	21.5	6.5	0.4
	小要素		A層	84.6	43.2	41.4	13.9	1.5	0
			B層	76	26	49.4	18.9	4.9	0.8
			C層	68.7	22.3	46.4	24.9	6.4	0
			D層	58	15.4	42.1	28.6	13.2	0.8
			A-D層	26.6					
144	要素	追加質問	全体	28.2	9.7	18.4	43.1	28.5	0.3
	小要素		A層	36.6	14.3	22.2	43.2	19.9	0.4
			B層	30.7	10.2	20.4	41.9	27.2	0.4
			C層	25.3	8.7	16.6	44.2	30.6	0
			D層	20	5.6	14.3	43.6	36.1	0.4
			A-D層	16.6					
145	要素	追加質問	全体	55.8	17.6	38.1	33.2	10.9	0.3
	小要素		A層	75.9	30.1	45.9	20.7	3.4	0
			B層	62.4	18.1	43.8	27.5	9.8	0.8
			C層	50.6	15.1	35.5	39.6	9.8	0
			D層	34.3	7.1	27.1	45.1	20.3	0.4
			A-D層	41.6					
146	要素	追加質問	全体	57.4	20	37.3	30.5	11.9	0.2
	小要素		A層	70.7	27.8	42.9	22.9	6.4	0
			B層	59.1	23.4	35.5	30.2	10.6	0.4
			C層	59.6	18.1	41.5	30.9	9.4	0
			D層	40	10.9	28.9	38.3	21.4	0.4
			A-D層	30.7					
147	要素	追加質問	全体	33.1	12.8	20.1	35.8	30.8	0.5
	小要素		A層	46.4	19.9	26.3	35.3	18	0.4
			B層	34.8	14	20.8	38.1	26.8	0.4
			C層	29.2	7.5	21.5	35.5	35.1	0.4
			D層	21.2	9	12	34.6	43.6	0.8
			A-D層	25.2					
148	要素	追加質問	全体	78.2	37.9	40.1	16.4	5.4	0.3
	小要素		A層	85.7	51.5	34.2	13.5	0.8	0
			B層	81.4	36.2	44.9	13.2	5.3	0.4
			C層	81.1	38.9	41.9	15.5	3.4	0.4
			D層	64.5	25.2	39.1	23.3	12	0.4
			A-D層	21.2					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合 (%)				
					当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまる	どちらかと言えば、 当てはまらない	当てはまらない	その他 無回答
149	要素	追加質問	全体	75.2	30.6	44.5	18.2	6.5	0.2
	小要素		A層	88.7	44	44.7	10.2	1.1	0
			B層	78	31.3	46.4	15.1	6.8	0.4
		人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある。	C層	77.7	26.4	51.3	17	5.3	0
			D層	56.2	20.3	35.7	30.8	12.8	0.4
		A-D層	32.5						
150	要素	追加質問	全体	82	41.4	40.3	12.8	5.2	0.4
	小要素		A層	93.2	57.1	36.1	6	0.8	0
			B層	82.6	43	39.2	13.2	4.2	0.4
		習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う。	C層	81.4	35.5	45.7	14	4.5	0.4
			D層	70.5	29.3	40.6	18	11.3	0.8
		A-D層	22.7						
151	要素	追加質問	全体	87.3	67.4	19.7	6.9	5.8	0.2
	小要素		A層	91.4	75.2	16.2	4.9	3.8	0
			B層	87.9	67.9	19.6	7.2	4.9	0.4
		学校で好きな授業がある。	C層	88.7	68.3	20.4	5.7	5.7	0
			D層	81.1	57.9	22.9	9.8	9	0.4
		A-D層	10.3						
152	要素	追加質問	全体	68.6	30	38.4	23.4	7.9	0.3
	小要素		A層	80.8	44.7	36.1	16.9	2.3	0
			B層	72.7	31.7	40.8	20	7.2	0.4
		授業中に分からないことがあったときに、友達や先生に聞くようにしている。	C層	66.4	24.2	42.3	25.3	8.3	0
			D層	54.2	19.2	34.6	31.6	13.9	0.8
		A-D層	26.6						
153	要素	追加質問	全体	58.7	28.3	30.3	23.4	17.9	0.2
	小要素		A層	63.5	28.9	34.6	22.9	13.5	0
			B層	61.4	28.7	32.5	23.4	15.1	0.4
		困ったとき、悩みがあるときは、人に相談するようにしている。	C層	58.5	30.2	28.3	26.8	14.7	0
			D層	51.3	25.2	25.9	20.7	27.8	0.4
		A-D層	12.2						
154	要素	追加質問	全体	51.8	28.4	23.3	27.2	21	0.2
	小要素		A層	66.9	39.8	27.1	21.1	12	0
			B層	58.7	31.3	27.2	22.3	18.9	0.4
		外国の人と交流する機会をもちたいと思う。(話をしたり、一緒に何かの活動をしたりするなど)	C層	46	21.9	24.2	33.2	20.8	0
			D層	35.5	20.7	14.7	32.3	32	0.4
		A-D層	31.4						
155	要素	追加質問	全体	78.8	50.4	28	13.6	7.5	0.5
	小要素		A層	84.5	53	31.2	12	3.4	0.4
			B層	80.7	48.3	32.1	12.5	6.8	0.4
		札幌には、好きな場所やものがある。(自然、建物、イベント、歴史、文化など)	C層	78.4	52.1	26	12.5	9.1	0.4
			D層	71.2	48.1	22.6	17.7	10.9	0.8
		A-D層	13.3						

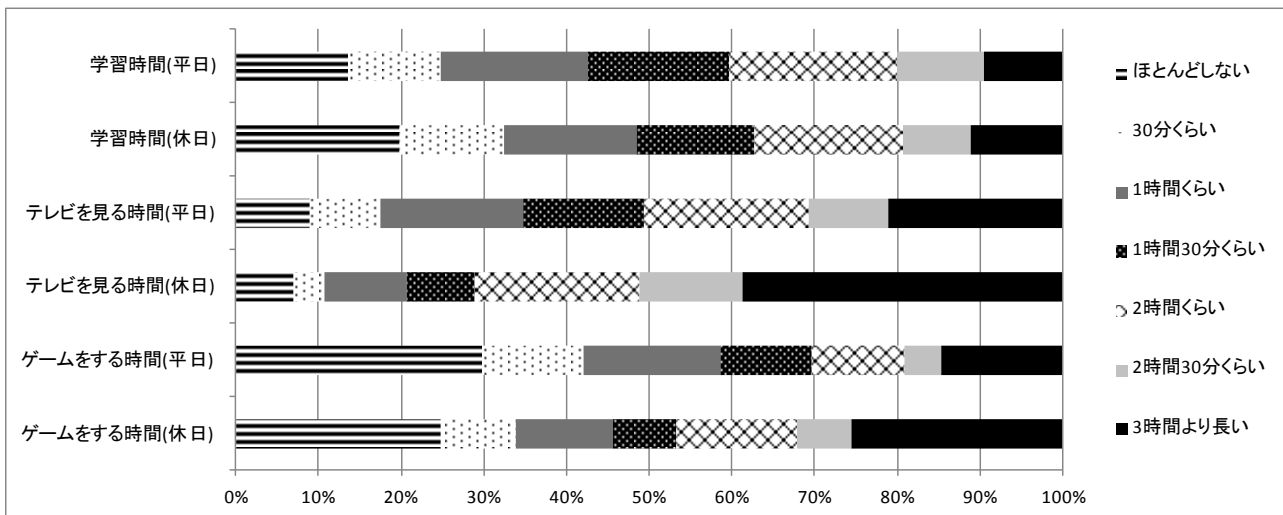
### ○札幌市全体の共通指標に基づく質問について

- ・ 肯定的な回答の割合が多い質問は、「学校で好きな授業がある」(87.3%)となっている。
- ・ 次に肯定的な回答が多い質問は、「習ったことや知っていることを使って、自分で考えることが大事だと思う」(82.0%)、「授業中、友達や先生の説明、意見を終わりまで聞いている」(78.2%)、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがよくある」(75.2%)であり、既習事項等を生かしたりしながら主体的に考えたりすることや、他者から学ぶことが大切であると認識している生徒が多いと推察される。
- ・ 教科学力と相関が高くなっている質問は、「意見を書くときには、その理由をはっきりさせて書くようにしている。」(A-D層の差が41.6ポイント)となっている。一人一人が根拠を明確にして自分の考えや意見を書く活動を大切にすることが必要である。
- ・ また、「分からないことは、自分で調べてはっきりさせようとしている」についても教科学力との相関が高くなっており(A-D層の差が39.3ポイント)、学ぶ意欲を高め、主体的に課題を見だし、探究していくような指導の工夫が求められる。



## ⑥学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

質問番号	質問内容	母集団	選択別回答割合(%)							
			ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間より長い	その他
81	要素 学習時間 あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	札幌市	13.6	11.2	17.7	17.2	20.2	10.6	9.5	0.0
		A層	7.5	6.8	18.8	19.5	25.2	13.2	9.0	0.0
		B層	9.8	12.5	15.8	17.7	19.6	10.9	13.6	0.0
		C層	12.8	13.2	17.4	17.7	22.3	9.8	6.8	0.0
		D層	24.1	12.4	18.4	13.9	13.9	8.6	8.6	0.0
82	要素 学習時間 あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	札幌市	19.8	12.7	16.0	14.3	17.9	8.3	11.1	0.0
		A層	13.5	7.9	15.0	16.5	19.9	8.6	18.4	0.0
		B層	16.2	10.9	17.0	13.6	18.5	9.8	14.0	0.0
		C層	21.9	14.0	14.7	15.5	18.9	8.7	6.4	0.0
		D層	27.4	18.0	17.3	11.7	13.9	6.0	5.6	0.0
79	要素 テレビを見る時間 あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビをみますか。	札幌市	9.0	8.5	17.3	14.6	19.9	9.6	21.1	0.1
		A層	10.9	13.9	17.3	18.4	19.2	7.1	13.2	0.0
		B層	14.0	7.9	19.2	14.7	15.8	12.1	16.2	0.0
		C層	6.4	4.2	18.5	14.3	24.2	9.8	22.3	0.4
		D層	4.9	7.9	14.3	10.5	20.7	9.4	32.3	0.0
80	要素 テレビを見る時間 あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビをみますか。	札幌市	6.9	3.8	9.9	8.3	19.9	12.5	38.7	0.1
		A層	7.5	3.0	10.9	9.8	21.8	11.7	35.3	0.0
		B層	7.2	5.7	12.5	8.3	15.8	14.7	35.8	0.0
		C層	5.7	3.0	5.7	7.5	24.5	14.0	39.2	0.4
		D層	7.1	3.4	10.2	7.5	17.7	9.8	44.4	0.0
83	要素 ゲームをする時間 あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	札幌市	29.8	12.3	16.5	11.0	11.3	4.4	14.7	0.0
		A層	38.0	18.0	16.9	11.7	5.6	3.8	6.0	0.0
		B層	31.3	10.9	20.4	11.3	11.3	3.0	11.7	0.0
		C層	30.2	8.3	15.1	10.9	15.5	3.0	17.0	0.0
		D層	19.9	12.0	13.9	10.2	12.4	7.5	24.1	0.0
84	要素 ゲームをする時間 あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	札幌市	24.7	9.2	11.7	7.7	14.5	6.7	25.4	0.1
		A層	30.8	12.8	12.0	4.9	20.3	4.1	14.7	0.4
		B層	26.0	10.2	13.2	7.9	12.5	6.8	23.4	0.0
		C層	23.0	6.8	13.2	10.2	12.5	7.5	26.8	0.0
		D層	19.2	7.1	8.6	7.9	12.4	8.3	36.5	0.0



### ○学習時間 テレビを見る時間 ゲームをする時間

- ・学校の授業以外に勉強をする時間については、「ほとんどしない」「30分くらい」を合わせると、平日で24.8%、休日で32.5%となっており、学習習慣づくりの大切さなどについて、学校から積極的に、子ども、保護者に対して啓発することが求められる。
- ・教科学力とテレビを見る時間との関係を見ると、教科学力が高いA層において、平日にテレビを見る時間が2時間以内となっている生徒が多い傾向がある。(2時間以内の生徒の割合は、A層：79.7%、D層：58.3%)
- ・教科学力とゲームをする時間との関係を見ると、平日、休日ともに、教科学力が高いA層において、ゲームをする時間が、ほとんどないか、30分～1時間程度の生徒の割合が高い傾向がある。(1時間程度以内の生徒の割合は、平日でA層：72.9%、D層：45.8%)

[参考] 教科の好き嫌いと理解度についての肯定的回答割合

教科	好き	理解度
国語	63.0	69.1
社会	64.6	63.8
数学	53.5	58.9
理科	59.9	58.5
音楽	66.3	68.4
美術	65.7	69.9
保健体育	74.2	75.5
技術	64.2	59.7
家庭	67.1	67.2
英語	57.0	57.3
総合的な学習の時間	61.9	
道徳	55.7	
学級活動	71.6	